

杉並区立小中学校

P T A 活動セミナー2025

記録集

PTA 活動セミナー－2025

もくじ

日時	対象	講師	ページ数
5月12日（月）（午前）		講師	
10：00～11：30	小学校、中学校会計担当役員	生重 亮	3
5月12日（月）（午後）		講師	
13：30～15：00	小学校、中学校学級委員	四柳 千夏子	10
5月12日（月）（夜）		講師	
19：30～21：00	小学校、中学校会計担当役員	生重 亮	3
5月13日（火）（午前）		講師	
10：00～11：30	小学校、中学校会長・副会長	生重 幸恵	16
5月13日（火）（午後）		講師	
13：30～15：00	小学校、中学校地域委員	武田 信彦	19
5月13日（火）（夜）		講師	
19：30～21：00	小学校、中学校広報・書記担当役員	手塚 佳代子	26

オンラインで開催実施

主催 杉並区教育委員会

協力 杉並区立小学校 PTA 連合協議会

杉並区立中学校 PTA 協議会

運営 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク

セミナー名	小学校・中学校会計担当役員
日にち	5月12日（月）午前、夜
参加人数	午前：17人、夜：23人
講師	NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 生重 亮氏

● ● ● 内容 ● ● ●

私はスクール・アドバイス・ネットワークに在籍し、PTA活動の相談を受けてきている。PTAという特性上、会計をがんじがらめに考えてしまうと皆さんに大きな負担になってしまふので、少しゆるやかな所も含めつつ、1年間会計処理を頑張っていただきたいと思う。皆さんが子どもたちの体験に関わって、子どもたちを成長させていくというスタンスで臨んでいただければと思う。本日は主に4点の内容について話していく。

1) 予算の実行（入出金管理）

予算というのは、1年間のPTA活動を実行するための資金、収入と支出の計画である。つまり、活動があって、その活動をするために必要な予算を立てるというのが基本である。コロナ禍で活動が変わっているかもしれないが、変わったうえで、その活動にどのくらいの予算が必要なのかを検討しながら予算案を立てていくというのが原則である。そして会計担当として一番大きな仕事が、1年間の入出金管理である。最終的には決算報告として作成し、皆さんにお知らせして終了するというのが大きな流れである。

予算の執行については、会計役員が一括管理するのではなく、各委員会に管理を任せて、時々チェックをしながら清算してもらうところが多いのではないかと思う。この時に、各委員会の会計担当者を決めて、きちんとしたルールを説明していただくのが一番良い。会計役員が前任から引き継いだルールを会計担当者にお知らせし、間違なく管理をしてもらうと、後でトラブルが少なくなる。各委員会の活動計画のもと予算の執行を行い、その管理をする場合は仮払いの書類にて記録を残すということが求められていく。

2) 記録をとる 金銭出納帳、預金出納帳、備品台帳などに記入

お金の扱いにとって何よりも大切なのが、記録をとることである。すぐに台帳に記入できない場合はメモでもよいので、記録にとって忘れないようにしていただくとよい。

入金と出金については必ず証拠書類と引き換えに行うこと、現金を持っている場合は金種表を作るなどして、現金残高を常に確認すること。そして帳簿の残高と、実際の現金残高が同じかを確認すること、これは定期的にやっておくことをお勧めする。通帳については預金出納帳を作り、通帳と残高が同じか管理しているところが多いのではないかと思う。通帳は入出金管理に記帳をできるので大いに役立てていただきたい。また、通帳管理者と銀行印の管理者を別に定めるなどして、複数人で確認できる状況を作ると間違いがない。

お金の管理と同時に、備品の管理もまた会計役員の役割の一つである。その備品がいつ購入されて、いくらだったかというのを台帳に記載する。備品そのものとあわせて連番をつけておくと便利である。備品は耐用年数を終えたときに破棄する必要があるが、この備品はどこが買ったものかが分からないと、破棄の費用はどこから出すのかが分からなくなるので、備品台帳できちんと管理する。

PTA の会計相談を受けていたときに一番多かった困りごとが、領収書が揃わないというものであった。各委員会にお金を渡すとき、領収書の取り方については一番よく説明をしておいていただくのが大事である。「○○学校 PTA」と宛名を書いてもらい、買った日、金額、何を買ったか、どこから買ったか書かれている必要がある。領収書に明細がない場合は、領収書と同時に明細もほしい旨を告げていただく。講師への謝礼金など相手から直接領収書をもらうときは、その方の住所、氏名、内容を記入し、シャチハタではなく朱肉印で捺印していただく。慶弔費など領収書が発行されないものについては、挨拶状や会葬御礼があれば証拠書類として残し、ない場合は出金伝票を利用して金額を記入しておく。ネット通販で購入する場合も、PTA の購入物であることが分かるように、領収書の宛名が個人名とならないよう変更してもらう。宛名が違うなど、領収書の要件がどうしても揃わないときには、PTA の経費として支出したもので間違いがないことを、複数の人で証明することで領収書の代わりにするという対応策が考えられる。領収書を PTA にて発行することがあった場合は、通し番号

を記入し、控を保存する。その際に記入間違いをしたときは、切り取らずに大きく斜線を引き、折りたたんでホチキス留めをする。

銀行口座の管理について、支払いを一件一件引き出して通帳に記載することで帳簿付けが楽になるが、時間がかかるうえ手数料の問題もあるので、役員にてどのような出金管理をすればよいかを考えていただきたい。仮払いを行う際は、申請書と清算書を必ず作成する。帳簿や領収書の保管については、最低でも5年以上保管するというルールがある。ただPTAの場合は周年行事など積立金に関わることが多く、10年保存が望ましい。

3) 決算の処理

PTAは皆さんの会費で運営している。つまり、その年に納めた会費はその年に使い切るというのが原則である。つい節約できないかと思いがちだが、それが過度になると繰越金を増やすことになってしまう。コロナ禍においては余ってしまった場合の対応のお悩みが多かったが、例えば年度末に児童生徒に渡す物品を購入するなど、早い時期に方針を決めておくとよい。図書やプロジェクト等普段購入できない物品を購入し、学校に使ってもらうというPTAもあった。その際、学校に物品を寄付するのは手続きが多く大変になるので、物品の管理者はPTAとし、PTAから長期貸し出しという形をとるとよい。

繰越金が非常に多いという悩みはよく聞く話である。繰越金は全体会計の10%程度あれば、次年度の予算に困らないで運営できるといわれている。どこかの段階で、どうやって清算するかを考えていかないといけない。多すぎる繰越金があるPTAは、内部できちんと相談しながら、どうするか考える一年にしていくとよい。

積立金について、今まで印刷機を買うための積立金が大きな原資となっていたが、印刷物がデジタル化したことでの減り、その代わりにWi-Fiの環境を整える、オンライン会議の契約をするためのお金にするなど、違うものに使っていくという傾向も出てきている。そういう意味ではPTA会計の改革期と言えるのかもしれない。PTAのなかで相談していただきたい。

会計監査は、第三者にきちんと帳簿を見てもらい、記載間違いがないかを見てくれるチャンスであると捉えてもらうとよい。年度末、年度が変わってから間違いが見つかると大変なことになるので、会計監査は年に2回以上の機会があるとよい。

4) 次年度予算案の作成

会計をしていて、正当な活動をしているにも関わらず、予算が余ってしまう場合は、予算と活動が合っていないということになる。そうすると、次年度の予算を削る、会費を値下げするという話になるかと思うが、なぜ予算が余ってしまったかという根本の理由が分からぬまま、安易に値下げをして次年度すごく困ったという PTA の話を聞いたこともある。委員会の会計担当が節約をして余ったのか、活動自体が縮小されて余ったのかを見極めて、単年度で安直に判断せずに予算が余る理由を考えていただきたい。

お金を扱うときに一番大切なことは、とにかく書類を残すこと。面倒かもしれないが、書類を残すことを一番に考えていただきたい。書類が手元にもらえないときには心を鬼にして、金銭のやり取りはしないと心に強く留めておく。会計を扱うことに責任を感じる方が多いと思うが、一人で抱えずに役員同士がチームとなり、複数で証明しあうなど一緒にやっていくという意識を持っていただきたい。資料に「会計・会計監査のチェックリスト」があるので参考にして、今どのようになっているのかチェックしながら進めていただきたい。

* 個人情報の保護について

個人情報保護法の改正に伴い、PTA も遵守すべき団体として位置づけられた。守るべきこととして、何のために利用するか本人に伝えて個人情報を取得する、個人情報を決めた目的以外には使用しない、鍵のかかる所に安全に保管する、無断で個人に渡さない、本人から開示が求められたときには断ってはならないというルールを守っていただきたい。配布や管理の方法を各 PTA にて話し合ってルールに決め、本人からの直接的な同意を求めて個人情報を得る。学校と PTA は異なる団体なので、学校の名簿を借りてはならず、PTA 独自で情報を集めるという工夫が必要になることをご留意いただきたい。

【ブレイクアウトルーム】

ここで、4～5人1組のグループとなり、下記テーマにて25分程度情報共有を行い、セミナーの最後に質疑応答の時間を設けた。

・ブレイクアウトルームについて

- 自己紹介（一人1分程度、「学校名、お名前」）合計5分
 - ✓ まず初めに、誕生月を皆さんでお話頂き、早い順に自己紹介を進めてください
 - ✓ なぜPTAに入ったか 等
- 会計を務めるにあたって、不安なこと、会計にまつわる様々な進め方の共有
- 気になる学校への質問（フリートーク）
- 講師に聞きたいこと 等
- ✓ 合計15分

【質問内容】

【午前】

Q：個人情報のNG例で、学校から情報受領は難しいとあるが、兄弟構成などを把握しないといけないが、学校から情報を受領したいのだがアイデアはあるか。

A：PTAの加入申込書に書いてもらうしかないと考える。学校からもらうのは難しい。

Q：廃品回収の入金の口座があり、廃品回収を辞めたがお金が口座に残っている。金額が年度の会費収入の3分の2くらいの金額になっているが一度に移して良いものか。

A：振込手数料かかるので、一度に移して問題ないのではないか。口座はまとめたほうが今後確認の手間や負担が減ると考える。

Q：規約運営細則に基づく運用に関して、当校PTA会計の条項が少ないし、細則もない。必要な物か、およびサンプルなどあるか。

A：会計細則は必ずしも必要なものではない。細則があると柔軟な対応ができない可能性もデメリットとして考えられる。新しく作る必要は役員で良く話し合って欲しい。

Q：目的別口座に関してどう考えるか。

A：周年積立や備品積立など必要であれば、複数口座の管理は必要であると思う。ただ負担増の可能性を考慮すると、使わない口座は閉じたほうが良い。

Q：繰越金をどうするか議論になっている。過去からためたものを今年度使ってよいものか議論になっているがどう考えるか。使い切ってしまってよいか、不安になっている。

A：使うことを検討しないと、ずっと繰越金が貯まるので、お金を使うことを検討して良いと考える。卒業した方たちのために使用しないままである必要はないと思う。

【夜】

Q：領収書に関して、レシートを推奨にして購入明細を残すことにしている。領収書でなければならないなどの事象はあるか。

A：PTA の皆様で決めているのであれば、レシートでも良い。領収書はお店の人が印鑑をつけてくれるので良いという面があるが、レシートでの運用も実施可能だと考える。

Q：印鑑レスの時代になっているが、手書きのサインで実施しているが違和感はないか。

A：印鑑レスに関して、PTA の皆様で決めていれば問題ないという理解である。ただ印鑑を使用しないのであればサインは必ず書いてもらいたい。

Q：印鑑レスの話で、会計監査の書類で監査した証明に印鑑とサインで実施している。回覧用にサインと印鑑のないものをダブルで使用しているが問題ないか。

A：会計書類に関しては、複数バージョンで使用するのは不正防止の観点から重要であると考えるので、デュアル管理は避けたほうが良い。

Q：当校は現状ないのですが、備品台帳は必要か。

A：あった方が望ましいと考える。PTA 所有のものを個人で使って戻ってこないなどの事例が発生した場合、確認ができない可能性がある。「備品台帳」という名前ではなくても良いが、管理できるものは必要。

Q：消耗品が多いのだが、どう考えるか。

A：金額基準に準じて運用するのが良い。購入日などがわからない場合はリスト化したタイミングで良い。文房具や紙であれば、台帳管理は不要であるという認識。

Q：PTA で購入したものをお学校に寄付、寄贈よりも貸出備品にした方が良いという話だが詳しく聞きたい。

A：学校教育法に準じると、PTA からの寄付寄贈は論点整理が多い。クリアにしておくのであれば PTA の備品として貸し出しにした方が楽なことが多いので申し上げている。

以上

セミナー名	小学校・中学校学級委員
日にち	5月12日（月）午後
参加人数	36人
講師	三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員 四柳 千夏子氏

● ● ● 内容 ● ● ●

■子どもたちと一緒に学級委員として楽しい1年間を過ごしましょう

ここ何年間か杉並区のセミナーを担当させていただき思う事は、杉並区の保護者の皆さんにパワーがあるという事である。今日も一緒に学ばせていただきたいと思う。ここにお集まりの皆さんは学級委員になろうと手をあげてくださった方々である。では、学級委員とは何をすれば良いのか？など、今日は皆さんで沢山話をして情報を共有していただきたいと思う。

私は東京都三鷹市で活動をしている。色々な活動の原点は20年ほど前、子どもの学校でPTA役員をしたことであり、PTAが今の私を育ててくれたと思う。PTAが終わった後も地域活動やコミュニティ・スクールに関わり続けて20年近くになる。渋谷教育長のお話にもあったとおり、子どもたちの安全で安心な学校生活というのが求められていると感じる。子どもたちのしあわせを考える時、しあわせとはどういう状況か？好きなゲームができる、好きなスポーツができる、家族仲が良い、健康な体である等、様々なしあわせの形があると思う。やはり1日の大半を過ごす学校という場が楽しいと思えることが子どもにとってのしあわせではないかと思う。その学校が安全で安心して通える場であるということが子どもたちの願いであり、親の願いである。また、子どもたちが元気に楽しく通える学校が地元にあるということは地域の人々にとってのしあわせでもある。私自身、娘が高校生の時に1学期間の不登校を経験している。毎朝娘とバトルを繰り返した。ある日娘が学校へ登校せず公園で時間潰しをしていたことが分かった時に初めて、自分は親として子どもを追い詰めていた、これでは親にも子どもにとても全くハッピーではないということにやっと気がついた。もう少し早く娘の気持ちに寄り添えていたらと思うが、お陰様で娘は今とてもハッピーに暮らしている。子どもが楽しく学校に通えるという事は親にとってもしあわせなことなのだと娘を通して気付かされた。

■学級委員として出来ることは何か

子どもが楽しく安心して学校に通えるにはまずクラスが大事であると思う。クラスは社会の縮図などという言い方もあるが、40人弱の小さなクラスが子どもたちにとってはとても大きな社会となる。毎日何か起こるし、大人にとってはとるに足らないことも子どもにとっては深刻な問題であることもある。先生と子どもたちで良いクラスを作りたいというようにどの親も思うだろう。良いクラスとは先生と子どもたちだけが作るものか？保護者には何も出来ないのか？伴走支援や後方支援など、保護者にも何かしらできることはあるのではないかと私は考えている。

ブレイクアウトルームを活用して少人数のグループに分かれてお喋りを楽しんでいただきたいと思う。皆さんは今日初めてお会いする方々だと思うが、同じ杉並区内の学校の学級委員という立場である。まずはお名前、学年、学級委員になった経緯など一回自己紹介をしてお知り合いになるところから始めたいと思う。1回目のブレイクアウトルームでは学級委員って何をするの？というテーマでお話をさせていただきたい。初めてで何をして良いのか分からないという方もおれば、自分の学校ではこんな事をしているよというご経験がおありの方もいらっしゃると思う。また、自分から望んで学級委員になった方もいれば、仕方なく引き受けた方もいるかと思う。愚痴を言いたい、誰かに聞いて欲しいなど、同じ立場の方にちょっと話を聞いてもらうというのも良いかなと思う。そんなお喋りを楽しんでいただけたらと思う。その際には皆さんの中から何となく進行役の方を決めていただき、その方も発言しながら皆さんがまんべんなく話ができるようにしてほしい。また、ここは安心して自分の意見を言って良い場である。なので、非難、批判、評価などはしない、人が話している際には最後までじっくり聞く事などにも留意願う。

■1回目 ブレイクアウトルーム（20分間）⇒情報共有

中学校役員さんが多いグループでは、給食試食会や、修学旅行の業者選定のプレゼンテーションに学級委員も参加するなど学年毎に仕事内容が違う学校があるという話や、コロナ前後でどんな変化があったかなどの近況の話、また、コロナで出来なくなった茶話会の費用を子どもたちに還元する話などが出た。また、別のグループからは学校行事のお手伝い、学級図書、ベルマークなど学校によって様々な学級委員の仕事があるとわかった。くじ引きや仕方なくではなく、とりあえずやってみようと立候補された役員の

方も結構多く、さすが杉並と感心した。

■子どもたちを取り巻く世界

最近、よく分からぬ事件が続いている。今の子どもたちはスマホやタブレットを持っているのが当たり前の世代で学校も若い保護者世代もどんどんペーパーレス化してきている。これから子どもたちはどうなっていくのか？私たちの想像を遥かに超えていくのだろうと思っている。

コロナ禍が与えた影響は本当に大きかったと思う。今はコロナ後だが、コロナ禍を経て、集まらない、近寄らない、触らないというような小さい時に経験した世界というのはこの先どんな影響があるのか想像できない。人と交わらない小さな世界を体験してきた子どもや保護者の中には学校という集団の中でどう過ごしていったら良いのか分からないという人も増えたのではないか。コロナにより子ども達の体験は圧倒的に足りていないが、同時に保護者が体験、経験する機会も減ってしまったと言える。社会的体験が足りていない、学校との関わりも少ない、集団の中でどうふるまえば良いのか分からないという事が起きているのではないかと考える。

不登校が30万人を超えたと言われている。登校渋り、不登校傾向にある子どもを含めたらもっと多いと思う。価値観も色々になっている。実際に不登校気味のお子さんがいるが、お友達と関わっていてもどうしても学校の話題についていけない場面が多く、仲間はずれにしているわけではないけれど、グループの中で1人になりがちという事がある。地域の大人として見守っているが、大人からみっていてもどうしたら良いか分からず、見守るしかないと思っている。

これからまたブレイクアウトルームの時間に入りたいと思う。皆さん良いクラス作りをして欲しいと先生に期待していると思うが、保護者として出来ることはないだろうか？ということを話し合って欲しい。それぞれ学級委員として決められた仕事があるが、それをすることのメリットは何か？良いクラス作りのために出来ることを皆さんで模索して話し合って欲しい。愚痴や不満も出てくるかと思うが、そこで終わらせず何かアイディアを出していただきたい。

■2回目 ブレイクアウトルーム（20分間）⇒情報共有

- これまで学校や PTA に関わってこなかった人も関わると楽しいことって沢山ある。ということを話した。まずは子どもたちの顔を知ると出来ることが増える。先生は色々な決まりの中で動いていることもあるが、保護者がサポートできることは沢山あり、一番大きなところは親同士や子ども達との繋がりができれば、より良いクラス作りに何かできるのではないかということを話した。叱るということは先生は出来ないけど親なら出来る。学校に行く機会が増えると我が子以外の子どもを知る事が出来て、公平に子どもたちを見る事が出来る。そして親同士が繋がっているとトラブルがあった時にも疑心暗鬼にならずに済むという話も出ていた。
- 先生も一緒に考えられるクラスが良いクラスなのではないかということを話した。そのためには先生と親、親と子どもとのコミュニケーションがうまく機能することが大事で先生にも元気になってもらいたいと思う。先生と保護者がコミュニケーションを取れることが大事。先生に相談できるように先生にゆとりができることが大事ではないか。保護者が横に繋がっていることによって先生も安心できるのではないかと考える。

皆さんの話からクラス・学校を想ってくださっていることが分かり、やはり PTA 活動は良いなと考える。

■PTA を取り巻く環境

PTA を取り巻く環境はどうなっているか。役員のなり手がない、非会員も増えていると思う。昔から PTA と言えば忌み嫌われていて、やらされるお仕事というのがあってできればやりたくない、PTA は要らないなど言われることも多い。私が昔会長を務めた三鷹の小学校・中学校は今 PTA がない。会長が不在、役員や事務局はあり、手あげ方式のボランティアになった。色々な理由があっての今の保護者の選択である。これは、良い、悪いなどの正解はない。学校毎の事情や保護者の課題があり、その上の選択なので私達 OB や地域の人間は現役保護者のとった選択を応援していくという事になるが、皆さんの地域では PTA 活動が PTA として存在しているからこそ皆さんが役員をしている。積極的な方、仕方なくやっている方など、様々かと思うが、決まった仕事があってその中で学級委員になったメリット、一年後にやって良かったと思えるような意義を見いだしていけたら良い。

やらなくてはいけないやらされ感ではなく、子どものために必要なことを自分たちのすきなように自由にやっていければ良い。コロナ禍でこのセミナーをしていた時に出た話で、中学校の学級委員が、コロナ禍で出来ることがなくて考えた結果、高校の校長先生をゲストにお呼びしてオンラインで高校の説明会を開催したというお話をあった。とにかく子どもファーストに考えた結果であり、素晴らしいことである。子どもたちに必要なこと、この先の子どもたちに必要なことを考えて委員を務めると楽しい活動になるのではないか。

昔は保護者の働く率は高くなく、幼子を抱えた人や、事情がある人は免除という互いの配慮があったように思うが、今はフルタイムでお仕事をされている保護者が増え、そういう事が通用しなくなってきたと思う。その中で平等に役員をする、負担を平等にするという平等・公平をどうやって担保できるのか。

有名な絵があり、身長がバラバラの3人の子どもが野球観戦をしている。塀があり野球が見えないので平等に同じ台を与えるが、見える子と見えない子が現れて結果的に平等ではない。結果的に全員が見えるようになるにはどうするかを考え、それぞれに合う台をあてがう。これが公平である。この合う台をあてがうことが配慮だと考えている。どのようにすれば良いかという正解はないが、学校の中でどうすれば皆が楽しく笑いながらPTA活動ができる1年間関わって良かったと思えるようになるのかを考えて活動していくって欲しい。

■最後に

写真はコロナ禍での公園の風景だが、20台くらいの自転車が停まっている。この横で若い保護者の皆さんのが木陰で輪になってお話をしていた。園には集まれない状況だったが、皆さん会ってお話したいと思われたのではないかと思う。その結果、公園で青空保護者会をされていたのだと思う。この光景を見た時に私は保護者の皆さん之力、集まって話そうよ、という力がまだまだあると感じ印象に残った1枚である。やはり顔を見て話すという事からコミュニケーションが生まれ、横の繋がりが生まれて良いクラス作りに繋がっていくのではないか。色々やらなければならぬ仕事があるが、何をどんなふうにやるかを悩んだら、一旦立ち止まってこれは何のためにやるのかと考える、子どもたちのために、そして自分たちのために、やらされ感のない、楽しくて前向きなPTA活動を続けていってもらえたたらと思う。私からみて杉並の保護者の皆様には、地域力、

市民力、保護者力があるなと思う。これからも杉並の皆様から学ばせてもらいたい。

以上

セミナー名	小学校・中学校会長・副会長
日にち	5月13日（火）午前
参加人数	51人
講師	NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重 幸恵氏

● ● ● 内容 ● ● ●

SNSの普及に伴いPTAの存在意義が問われている、私は社会教育から子どもの居場所、学びの機会の提供・安全安心の確保に必要な物だと思っている。いつもPTA研修で平等ということに悩むことが多い。誰かがやっているから、やっていないから平等だ、不平等だという議論は非常に難しい。ほんとに未加入で良いのかということを再度考えていいってほしい。地元の人の知り合いがいるというのは大事だ。

スクール・アドバイス・ネットワークを立ち上げて25年ほどになるが、勉強って何が面白いんだろうなどの学びの動機付けの活動を続けている。その他には、地域活性化伝道師を20年以上続けており、地方の子どもが地元を知る機会を提供している。今必要なことは子どもたちの体験格差のは正であると思うのでそこを重点に活動を続けている。

PTAって何が負担か考えて欲しい。ずっと「やらされ」でやっていることを変えるのはめんどくさいことになるから、我慢しようと順送りしているところがある。英断を下して、見直しをしているところもある。子どもにはコミュニケーションが大事だといわれている。子どもたちが自分の立場で考えているのに、保護者がそれでやらなくて良いの？ということを変化を恐れずに考えていってほしい。やるべきことを絞つて活動を続けているPTAも出てきている。ぜひ、1人で抱え込まずにだれかと話してみて欲しい。

PTAが子どもの安全を守ることは非常に大事なファクトだ。子どもたち同士で勝手に遊べる公園があるのか、道を安全に走れるか、考えてみて欲しい。杉並区での身の処し方を学んでいくことが必要。家庭で全部やりますというのはごく稀である。家族で考えたり体験したりそういう時間を持つことも大事だが、集団の中で社会性をもつて学ぶのは大事なことになる。「豊かな体験」は重要なキーワードだ。キャンプやスポーツ等すべてが子どもたちにとって豊かな体験だが、社会につながって体験すること

も非常に大切で、PTAがそういう場を作つてみるのが良いと思っている。保護者が全部用意するのではなく、子どもたちも考える場を作つてみるとより良いと思う。

日本の今置かれている現状は少子高齢化の進展、社会格差の増大、地域社会・家庭の変容、産業構造・雇用の変化、グローバル化の進展などがある。このような変化が起きている中、地域が子どもたちを見ていくことは非常に大切である。いろいろな角度からいろいろな人が関わることで多様な面が見えてくることがある。子どもたちが自分で考える脳を持つことが非常に大切である。子どもたちの将来を取り囲む状況はAIに代わられたりする。一生安泰という言葉は当てはまらない状況になっていく。AIなどをツールとして使いこなせるようにならざと流されてしまう。

Society5.0の時代になるといわれており、自分がそういう大きな波の流れに乗れるようにしていかないといけない。

学校はちょっと変わるだけで楽しいものになる。知ろうと思ったときに勉強も楽しいものになる。保護者の側から、関わり合つて、学校がより学べる場になっていくことが大事だ。これから社会に生きる子どもたちに求められる能力は「学び続けられる力」の育成である。地域の多様な人との関わりはそのような能力養成の一助になっていくものと考えている。これからの教育には回答はないので、みんなで関わってみんなで考える必要がある。その関わりの一環でPTAを活用していくことが大事だ。

新しい学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」を求められている。変化が激しい中で一人一人が力を付けていかないとね、という流れになっている。学習指導要領が改定され、学校での学びは将来につながっているか、志望する大学へ合格するための学びではない、ということが謳われている。

学校は学校運営協議会（CS）というのをやっている。CSは子どもたちの教育方針をもとに確認・承認する機関だ。PTAのOB、OGもいるので今後は協力関係の構築を考えていってほしい。また支援本部というものもある。豊かな学びを支えている方たちが所属している。巻き込まれる子どもたちが笑顔になって安心安全を確保していくことにつながっていく。PTAも年に1回協働しても良いので子どもたちが喜ぶことを想像しながらやっていってほしい。

PTAの存在意義は子どもの幸せと笑顔である。どのように効率的に関わりながら、実施していくかが大事。学校と家庭の役割分担が大事。PTA活動と家庭のしつけは関係があるのかという話になるが学校教育と家庭教育が連携していくことが大事で、家庭教育の重要なことは保護者自身も色んな人と関わりながら考えていくことが大事

だ。子どもの話をぜひ聞いていってほしい。大人たちが外と関わっていると、子どもも外と関わることを恐れなくなる。PTAはその推進役になっていく役割ではないか。PTAの活動も見直していって、より多くの人と関わりの中で感じていって欲しい。会長・副会長は地域との連携推進が大事だ。より多くの人と関わって欲しい。

すべての活動は2:6:2である。2割は率先、6割は同調、2割は傍観である。傍観を巻き込もうとするのではなく8割で豊かになっていくことが大事である。傍観を放置するのではなく顔見知りになって気にかけあえる関係を作って欲しい。

活動の見直し、時間帯の工夫、短時間化、オンラインツールの工夫などを実施していってほしい。自分らしく保護者が子どもたちと関わることで「子育ては親育て」というが、子どもたちから感じるものは多いはずだ。笑顔で楽しく活動を実施していってほしい。

以後ブレイクアウトルームを実施した。

• ブレイクアウトルームについて

- 自己紹介（一人1分程度、「学校名、お名前、役職」）**合計5分**
 - ✓ まず初めに、誕生月を皆さんでお話頂き、早い順に自己紹介を進めてください(1月→12月)
 - ✓ 自己紹介と合わせて、「今回PTAの役職を引き受けたきっかけ」をお話しください



- 時代背景を考えたPTA活動のこれからを考える
 - ✓ 下記テーマについて発表（一人5分程度）**合計20分**
 - 講演を聞いて参考になったこと・今後に活かせそうなことのシェア
 - 講師に聞いてみたいこと
 - 今後のPTA活動で分からないこと・不安なこと・疑問に思っていること・困っていることなどの共有



- 気になる学校への質問（フリートーク）**合計5分**

ブレイクアウトルームの発表

- ・とても勉強になり、ありがたかった。
- ・PTAの存在意義として、子どもの笑顔のためというのを再確認できた。
- ・貴重な話をすることが出来た、主に話したのは役員の選出方法で、それを知り当校は改善していくかないと感じた。
- ・PTAの簡略化のアイデアをもらうことが出来た。

以上

セミナー名	小学校・中学校地域委員
日にち	5月13日（火）午後
参加人数	37人
講師	GO! GO! 市民防犯推進プロジェクト主宰 市民防犯インストラクター 武田信彦氏

内容

私は市民防犯インストラクターで、一般市民の立場で防犯を伝える活動を30年間続けている。最近の事例などで、防犯についてかなり関心が高いのではないかと思う。小学校内に授業中に侵入して教室で暴行事件を起こした前代未聞の事件や、通学路上で子どもを狙った事件、刃物を使った事件、中学生による無差別の殺傷事件など、防犯に関わる者として心を痛めている。防犯の限界がある一方で、その限界を超えていかなければならない、命を守らなければならない、情報を伝えなければならないという責任感で仕事をしている。

専門は「市民防犯」=一般市民ができる防犯である。全国で市民防犯を扱っているのは私一人である。教職員、PTA、まちの見守りボランティアに向けた研修会や、子どもたちの防犯セミナーなど、全国津々浦々で行っており、この30年間でかなりの数の小学校にお邪魔した。私の防犯の特長は実践を大事にしているところである。実際に体を使い全世代に対応する防犯対策を指導し、非武装の状態でどう身を守るかのコツを研修や本、メディアなどでも紹介している。

法律に基づいて危機管理マニュアルが作られ、学校それぞれの特長に合わせて運用されているが、きちんと運用されているのか？ということがある。管理職だけが理解していて、他の先生方は忙しくて読んでいないということはないか？また、運営マニュアル自体の想定が甘い部分もある。日本は関係者と関係者以外に分ける傾向があるが、防犯対策においてはこの線引きは絶対にしてはならない事の1つである。複数人の侵入、特定の児童を狙うなど想定外が3つくらい重なった重大事件が昨今おきたが、これを教訓として学校安全対策を通知文で終わらせず、先生達がチームワークを強化し身を守ることに対しての柔軟性、通報体制について具体的にどうすればよいか、予算も含め真剣に取り組むきっかけになるよう、継続して発信していきたい。

地域委員の皆さん役割の通学路の安全のほかにも色々な防犯をお話していきたい。

治安維持には警察防犯と市民防犯がある。私の立場は市民防犯の領域で、PTA の皆さんも同じく市民防犯の領域である。その範囲でしか活動してはいけない。この違いだが警察防犯は犯罪抑止で力の行使が加わる。制圧する、抑え込む、武器を使う、逮捕する、権限を行使するなど犯罪側にとって脅威となるような力を伴う防犯である。PTA は犯罪抑止にはなりえない。警察のように直接的に犯罪に向かっていく防犯ではなく、犯罪防止こそが PTA の皆さんの得意技である。暴力的な要素は一切いらない。間接的に子どもたちを守っていくのが PTA の皆さんやまちの人達が子どもたちを守る防犯活動の基本の在り方である。

市民防犯の大きな目的、意義は 2 つある。1 つは犯罪が起きにくい環境作り、2 つ目は助け合いの環境作りである。ここには監視もにらみ合いも犯罪に対するパンチもない。笑顔とあいさつの見守りで全て整理がつく見守りである。これが市民防犯であり、かなり成熟した社会でないと成り立たない非常に高度な防犯対策であり、日本独特と言っても良いかもしれない。ここには優しさしか含まれていないという事がポイントである。

日本は世界的にみれば 5 位以内に入るほど安全な国で観光客も多い。しかし、その一方で、犯罪の刑法犯の認知件数は 2023 年で 70 万 3,351 件ある。桁が違う国もあるが、この数字を見て少なくて良かったとはならないので安全というのは評価が難しい。また、刑法犯の認知件数とは全ての犯罪の件数とは違う。暗数や前兆事案も含めると 70 万件では済まない。

子どもの防犯対策がなぜ必要なのかを理解することが重要である。1 つは子どもだけになりやすい環境があること。2 つ目は、犯罪リスクはどこにでも生じるということ。泥棒は減っていても外で子どもが狙われる犯罪は減っていないのが現状である。不審者メールが減ったから防犯しなくて良いというのは大間違いである。防犯や犯罪を考える時に犯罪の発生数だけで判断することは極めて危険な考え方である。子どもだけになりやすい、子どもだけで行動する現実があるところには防犯が絶対必要である。現状では個人に責任を押し付ける防犯対策は不可能なため、PTA はじめ社会、地域全体で見守り・助け合う環境が欠かせない。

■国の政策はどうなっている

文部科学省は「登下校見守り活動ハンドブック」というものが出しているが、危険な場所とはどこか？（警察庁が作った犯罪被害等防止マニュアルの子どもの犯罪被害が発生している場面で、犯罪被害の実態調査を経て作られている。）

1. 道路：大通りから1本入った住宅地、片側が田畠などの所は歩行者も少ないので注意が必要
2. 駐車・駐輪場：犯罪を計画する者が車で待ち伏せや駐輪場の死角に隠れて物色していることがある
3. 公園：不審者かどうか分かりにくい。子どもが複数人で遊んでいても注意が必要
4. 集合住宅の共用部分：廊下やエレベーターなど自宅近くで気が緩みがちだが後方に注意が必要

女性の犯罪被害が発生している場面も場所は子どもと被っているが、時間帯が違う。朝早くから深夜までに犯罪被害が発生している。ポイントは特定の場所が危険なのではなく、ひとりになる瞬間に性犯罪、わいせつ、付きまとい、悪質な声かけというものが集中しているという事。このことから、なるべく町の中でひとりになる瞬間や、子どもだけの瞬間を減らす、無くすことが犯罪の起きにくい環境作りに役立つということが研究調査で裏付けされている。それを根拠に地域の皆さんやPTAの方々の見守りの目を増やす、関わる大人を増やす、これが今の防犯対策の肝である。

■PTA が出来ることは

防犯は一人ではできない。皆の力が必要で、その雰囲気作りが必要となる。

- ・地域のちから（児童館や警察などの公共施設や公共機関）
- ・PTA の皆さんなどの保護者のちから（登校の付き添いや玄関先で声を掛けて見送るなどできる時にできる人がやれば良い、義務ではない）
- ・子どものちから（子ども自身が自分をひとりにしない行動を取る）

この3つのちからのどこにでもアプローチできる立ち位置にあるのがPTAの皆さんである。各方面、全方向に対して働きかけができたり、面白いことを仕掛けたり、情報を伝えたりできる極めて重要な立ち位置に居るのがPTAであると考える。やらなければいけないとは言っていない。重要な立ち位置にいるので、役員の期間は1年間だと思うが、やれる事があるならやってみた方が楽しいと思うし、今とても求められている。役員だけで頑張ることを目指さずに皆を巻き込んで、人が楽しく繋がるような方法が良

いということを覚えておいていただきたい。皆さんがいるだけで子どもをひとりにしない環境作りができ、防犯に役に立つ。子どもたちに目を向け、気を向け、時に可能であれば声を掛け挨拶をするという姿そのものが、子どもだけの状態を無くしているので、不審者がここで犯罪はできないなと考え立ち去っていく雰囲気を作っていくことが、間接的防犯の考え方で犯罪学でも自然監視という言葉で説明されている。無理することはない。ここで必要なのは笑顔とあいさつくらいである。役員になり何か重い気持ちで犯罪に向き合わなければならぬのかと思っている方々がいたとしたらその気持ちは今ここで捨てていただきたい。

■明るい気持ちで地域活動を

大人が渋々やっていることが子どもに伝わるとマイナスのエネルギーしかプレゼントできないので、まずは楽しくやっている雰囲気を作って欲しい。防犯の腕章やプレートのイメージが重い、嫌だと感じるなら、そうでないものに変えて良いと考える。我々はデザインを無償で提供している、それらを元にバッジや腕章など自分たちの使いやすいものに作り替えて良い。やり方が嫌なのであればそれを変えて欲しい。皆さんで一斉に行う団体行動が難しいのであれば、個人でできることで活動しても良いと思う。犬の散歩でわんわんパトロールや、買い物の時に気持ちを向ける事の方が重要で、もっと気軽に出来る活動をした方が効果的。子ども 110 番を広げるのも重要な活動、パトロールが出来ないのであれば情報を伝えて欲しい。

子ども 110 番の家が十数年で 3 分の 2 に減っている。これは子ども 110 番の家の理解が進んでいないからである。子どもを守る防犯意識の啓発とか、子どもの防犯に意識・目をむけているという気持ちを発信することが第一目的。第一目的が伝わらないので第二目的も伝わらず、駆け込まれないからやめたいという人が出てきてしまう。続けていかないと無くなってしまう可能性があり、無くなるということは大変なことになりかねない。増やす理由はあっても減らす理由は一つもない。犯罪が起きてから取り組むのではなく、起きないように防止するという考え方が重要。

■地域であいさつは必要か

あいさつが面倒な方もいるし、あいさつすることで悪意のある人に出会わないか、あいさつに関する考え方があれれている。あいさつはなぜ必要か？あいさつの無い社会では孤立を生む。子どもが助けてと言えない社会になってしまふ恐れがある。子ども

が一人きりになる瞬間が増えていくということにつながりかねない。シンプルなあいさつ、人との関係性は捨ててはいけない。警戒心と助け合い意識のズレが広がっている。助け合いの環境がなければ子どもは守れない。防犯教育と地域防犯がずれている。地域防犯は人の善意による防犯対策で、人との関わり合いが必要なのに、関係者と関係者以外と分けたりして信頼している人に犯罪されることもあれば、知らないうちに助けてくれる人を切り捨てているというのが今の防犯教育の最大の問題点である。

通学路で子どもを助けようとしたら拒絶されたという事例があるが、防犯上の挨拶の意義とは、助け合いを育む大切な基礎力である。しかしやり方には気を付けて欲しい。大きな声でおはよう！という必要はない。きっちりしたあいさつも必要ない。あいさつは心と心が通じ合うことが大事で、テンションの低いお子さんには低めのテンションすれば良い。地域の方も無理せず、無言で通っていくお子さんには手を振るだけでもよい。見ているということが伝われば良いのだから、声を出さずとも会釈や手振り、目を合わせるなどでも十分。押し付けがましい挨拶はいらないが、あいさつはやめないで欲しい。

警察への通報・相談はためらわずして欲しい。110番や#9110などがある。所轄の警察署に電話でも構わない。前兆事案は皆さんの情報から知りうることなので何か起きていたら所轄の警察署に連絡をして欲しい。

注意が必要なのはひとりになる瞬間。「なるべくひとりにならない！」「ひとりにしない！」ということ、子ども側の防犯指導時に一番に伝えることである。不審者のイメージを決めつけない。場所を決めつけない。防犯力を引き出す。子どもに防犯指導をする時には子どもを主役にして話すこと。もし一人になった時は自分の防犯力を使うということを教えて欲しい。通学路以外でも出かけ先でも注意をする。どうやって守るかと言えば、ひとりにならない、よく周りをみる、聞くこと。また、距離感を持ち危険からは逃げる・断る。人にSOSを伝える力も身を守る方法である。中学生頃になると力に自信が出てくるお子さんもいるが、暴力と身を守ることは違う。正当防衛などが認定されるのはとても難しい。中学生でも逃げるが勝ち。自分に自信が付いた年齢のお子さんでも、人は助けてもらわなければ助からない事があることを教える事が大事。同時に、助けてあげるという気持ちを育むことも重要。

インターネットは密室になりやすく短時間で被害者にも加害者にもなりやすいため注意が必要。相談窓口は広がっている。犯罪に巻き込まれないことも自分を守る防犯対策である。闇バイトなど、短時間で高収入になるバイトの違和感を早めに家族で共有する

ことや、ためらわざ家族に相談できる雰囲気を作ることが重要。自分や他者を大切にすることが防犯の第一歩。

PTA の皆様の負担をなるべく軽くしたいと思っている。人と人との繋がり合える善意の力をフルに活かして欲しい。今、大人たちの活動を見て成長した中学生、高校生、大学生による学生防犯ボランティアも活躍している。ためらわずにあいさつを大事にして、あいさつの種まきで見守りの花を咲かせて欲しい。

グループワーク

昨今不安な事件が相次いでいるので、学校周辺やご家庭周辺の防犯で気になる事をグループで共有して欲しい。

■質疑応答

Q：PTA がやれる事を示唆いただき地域の子どもたちの安全を一手に引き受けるまでにはいかなくても良いということがわかったが、現実的にどの辺を目標にすれば良いのか、日中に家に居ない保護者も多いので出来る人が出来ることをということをより具体的に教えていただきたい。

A：色々と講演に行くと、見守りは必要ないという声が増えている。見守りは個人がやるべきでは？犯罪がそんなにおきているのか？などと言う声があり、雰囲気で大丈夫なのではないか？や負担感が先行してしまい見守りはいらないなどと言ってしまうというところに非常に不安を覚えている。まずしていただきたいことは意識の共有である。市民防犯対策には犯罪がおきたからやるではなく、要は予防していかなければならないという意識の変革が大事である。PTA の皆さんの中での負担感の先行や、そもそも PTA は必要なのかなどという考えも出てきている。どなたかが思いを込めて始めた活動が毎年バトンタッチしていく中で、形だけになってしまっていて意義・目的が抜け落ちてしまっている。やっているからやらなければならない活動では不満が出てきやすい。意義・目的を考えて形を変えて活動してもらいたい。一般会員の皆さんに対して重要性を理解してもらうことや、無理なく出来るという気軽さ、こんな感じでOK という負担のない活動であることを理解してもらうことが必要だと思う。通学時に行ける時に一緒に付き添うことがどれだけ防犯になり効果的であるかということを教えてあげるのも良いかと思う。

Q:委員の方々がリードするのが良いのか？皆さんの意識を高めて出来る人が自発的にやっていくのとどちらが良いのか？組織化すれば負担感が増えるし、地域差もあるだろうが、必要派は少数なのでどのようにしていくのがよいのか？

A：難しいところだが、地域やPTAの方々の中でも正しく必要性を理解している人は少数派になってきていると感じる。そこで工夫の一手が必要だと考えている。地道にやるだけではなく例えばデザインを変えてみるなど、振り向かせるような工夫も大事だと思う。防犯を真面目にしなければという先入観が強い気がするので、もう少しデザイン性や気楽さを発信していくだけでも雰囲気は変わっていくと思う。着ているものをガラッと変えるなど、これから弱体化していくのを止めるためには今の段階で気付かれたことから着手していく。面倒な部分もあるかもしれないがこの取り組みは無駄ではないと思う。

東京防犯ネットワークという東京都が運営しているサイトなどを見ると、「RUN and SAFETY」、「わんわんパトロール」など、「ながら見守り」をするにあたって無料で貰えるアイテムもあり、取り組みの事例なども紹介しているので参考にしていただきたい。こういったアイテムがあると俄然やる気になる方もいらっしゃるので活用するのも良いと思う。

以上

セミナー名	小・中学校広報・書記
日にち	5月13日（火）夜
参加人数	45人
講師	NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー代表理事 手塚 佳代子氏

● ● ● 内容 ● ● ●

PTA の情報発信については、昨今 DX・デジタル化ということを上手く活用して行ってほしい。先にこの 2 点を確認し、ディスカッションで情報共有する流れで進めていく。最後に 2 グループくらいから発表してもらいたい。

私は、杉並区生まれ、杉並区育ちとして阿佐谷駅そばに事務所を構え活動している。子どもも杉並区の小学校、中学校でお世話になり、その際には私も PTA 広報委員などを務めた。デザインや WEB メディア、IT 系の制作会社にいたのでそれを地域に活かしたいと思い、現在は地域の情報収集・編集・発信、ライターの養成やイベントの運営などをしている。

■PTA の意義を再確認

P と T は保護者と教員である。保護者と教員が学び合い、協力・連携することによって得られた成果を児童・生徒に還元する。子どもの為にということも必要だが、まずは保護者と教員の学び合いの場であり、地域交流、情報共有の場でもある。単に学校のお手伝いという考え方ではなく、PTA で集まった皆さんで情報共有したり支え合ったり、家族ぐるみ、学校、地域ぐるみで子どもたちが成長していく過程を見守るという、そのような役割が PTA ではないかと考える。教育長のお話にもありましたように時代が変わってきていること、組織や個人の考え方も大きく変わっているので配慮しなくてはならない。PTA を必要だと思っている方は多いと思うが、存続するには時代に合った形に変化していくということも考えながら進まなくてはならない。1 年しか担当しないので何となく流していれば終わってしまうこともあるが、その 1 年間に出来ることから少しづつ方向転換や改善をしていくことを積み重ねていくと 10 年後はかなり違ってくる。PTA 活動を今一度考えていただき活動していただけると良いのではないか。

■広報と書記は似ているようで違う

書記の役割は PTA 活動の事務的な事のまとめ役である。「PTA ハンドブック」では「総会や運営委員会、役員会の開催通知、次第、議事録のほか、活動の報告書（運営委員会だより）などを作成します」と定義されている。書類を作成することによって PTA 活動への理解・協力を得るための情報収集・発信を担うことになる。

広報の役割は学校の魅力、PTA 活動の魅力を伝える事が目的である。広報誌は目的を達成するためのツールである。作って終わりではなく広報誌によって魅力を伝える事が目的である。

書記も広報も書類はツールである。会員の皆様の目にどう止まってどのように情報が伝わっているかということに留意して欲しい。広報誌に関しては企画から担当できる自由度の高さも楽しみではあるのだが、それだけに責任も重大で、会員の皆様の役に立つような企画を考えるところから始めていただきたい。

■活動のポイント

本格的に動き出す前に考えていただきたいポイントが3つある。作業の効率化、情報到達度の向上、これから活動スタイルを意識して提案し直していくこと。

1つ目の効率化においては、本当に必要な活動はどれか、今やっている活動で不要なものは無いか、もしくは足した方が良いものは無いかということを見直すということ。

2つ目は情報到達度の向上。皆が等しく同じ理解に至っているか。そのための書き方など工夫していただき読み手に配慮すること。

3つ目は新しい活動スタイルを提案して欲しいということである。独自の仕組み取り組みを作りメンバーの得意分野、興味関心を活かしてもらいたい。負担感を感じるとつまらないので、自分のスキルを活かして最終的には関わってよかったと思える挑戦をしていく。負担感のない活動を目指して欲しい。平日の昼間に活動しがちだったPTA も、皆さんの都合や有職者率に配慮して夜の時間帯に実施するなど変えていけるものは変えて欲しい。同じ組織で似たような活動がある時に分担を分け合うなど前例にとらわれず改革してみるのが良い。そのような改革を理解してもらえる環境づくりも大切なのでコミュニケーションをしっかりとり、トライ＆エラーで進めて欲しい。

また、担い手不足の解消にサポーター制の導入などをしている学校もある。単発ならお手伝い出来るという方もいるので、適材適所で得意分野を担当すると効率が良

い。また、こんな変わった方法で運営しているという学校があれば今日皆さんに情報共有などしていただければと思う。適切な人数で作業することも大切。大人数でやった方が良いもの、少人数の方がやりやすいものというのであるので、作業に関わる人数も考えていただければよいかと思う。

■DX を無理なく活用

昨年度から保護者向けの情報配布の方法が totoru に変更された。昨年度のブレイクアウトルームで一番多かったのは PTA との活動で一番大切なことは先生との連絡手段だという意見であった。教員の方々の使用方法はまだ分からぬが、今年度からは学校との連絡方法が緩和されるのではないかと期待している。

デジタル化や生成 AI などは上手く使えば時短、紙面の節約になる。また人間が何時間もかかることを AI は 3 分でまとめてくれる。まずは遊んでみるだけでも構わないので、良いものがあれば使って欲しい。無料でできる杉並独自の発信ツールもある。CMS も提供されているので気になる方はすぎなみ地域コムで調べてみて欲しい。

便利なツールとして、スマホ機能や写真から文字おこしの機能、OCR 機能などがある。会議の議事録を録音しながら文字おこし出来る機能などもあり、アクセス解析というグーグルの無料でできる効果測定機能もある。

生成 AI の進化はすごいので試しに使ってみてご自分の判断で使用すると良い。完璧ではないが文章の要約もできるので、忙しい方向けには読む時間が短縮できる。

■ブレイクアウトルーム ⇒ 発表

2 つのグループから話し合った内容を発表した。

- ・前例踏襲をやめて改革していく。
 - ・ホームページの閲覧にパスワードかけることなどの情報共有。
- などが話し合われた。

■情報発信のポイントを確認

1. 読み手への配慮

PTA 会員の環境・状況はそれぞれに異なるので、受信者側が等しく同じ理解に至る工夫やどんなに忙しくても読んでみようと思わせる工夫をして欲しいと思う。サクッと読める。重要な連絡がある。わかりやすい。が重要である。返信の見落としもよくあるのでデザイン的に配慮するなどの工夫もして欲しい。杉並区にも外国人が増え、3%

強が外国人。やさしく正しい日本語で書いてあれば自動OCRなどでも正しく翻訳されるので、分かりやすい日本語を使うのが良い。見出し、重要事項などには英語を添える方法もある。

2・第一印象を大切に

手に取って読んで貰う工夫と、重要度が分かる工夫。読み込んでもらう工夫として、適切な見出しつける事が必要。これはPDFでデジタル配信される時でも効果があると思う。PTAと一口で言っても小学1年～6年、中学1年～3年では状況も違うので自分事かどうか瞬時に判断できるようにより具体的に「高学年の方注意です！」「新入生は」など宛名を付けると分かりやすい。記事が多い場合にはナンバリングなども良い。執筆、編集の工夫は、一文を短く適度に改行を入れることや、専門用語や略語は出来るだけ避けること、もしくは注釈を付けるようにするのが良い。長文は最初が面白くないと最後まで読まれない事が多いので、短文化するための文章の要約もよいと思う。運営委員会だよりなどは記事の大小や、文字種のメリハリをつけ、記事を見つけやすくして欲しい。どんなに文字が多くても行間隔がきちんとすれば非常に読みやすい。視覚的にも見やすいように配慮していただきたい。締め切り日や、開催日はポイントを大きくしたり色を付け目立つようにしたりして概要と詳細のバランスにメリハリを付ける。最初からすべて書かず最低限の事を書き、その先は連絡をもらうようにリンクを貼ったりQRコードを付けたりしておいて返信してもらうと情報の保管にもよいかと思う。情報を選んで絶対に届けたい物を効率よくということをお願いしたい。

アイキャッチの工夫も重要。人間の目線はZ型に動くので横書きの場合は上から下に文章を書いたり、逆に違和感を覚えさせ注意・関心を惹きたい時にはその間に縦書きの一文を入れたりするのも効果的。さらに、視線は赤を第一にキャッチすることが多いので、見出しに使うなどの工夫も試してみると良い。

3・コンプライアンス・セキュリティ対策

ブレイクアウトルームでも話に挙がった今時の注意の再確認。学校では個人情報と著作権などの問題があるので多少知識をもつことや、確認することが重要。校外に配布するのかということも考えて転載不可とつける事や、個人特定できる状態を防ぐ事

が必要。セキュリティの問題はIPAが無料のチェックシートを配布しているので、検索して欲しい。

4・データ制作時の注意点

データ容量は適切なサイズにして欲しい。ファイル名は分かりやすくルール化し、PDFのプロパティ化も設定する。

5・P D C A

いつ頃何が来るのか分かるように情報配信日を定期化すると関心が薄い方にも分かりやすい。休息コラムで別角度からの関心を得ることも受信率に繋がる工夫。

■まとめ

役員の皆さんの個性やスキルを活かして効率的な活動をするということ、充実した読後感を持ってもらえるよう読み手に配慮すること、古いしきたりに拘らずに新しいPTA/DXを試すことなど、自分が関わった意義を見つけられるように何かひとつでも挑戦していただきたいと思う。

以上

PTA 活動セミナー2025

会計担当者研修資料

特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク
生重 亮



会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

この内容は、PTA という任意団体における会計処理についてです。

煩雑な会計処理を求めてしまうと、ボランティアである会計役員の皆さんへの大きな負担にもつながることから、原則的なことを踏まえながらも、運用面で簡潔にした内容も含んでいますので、ご了承ください。このレジュメには、各所に「メモ欄」を配置しています。気付いたこと、書き残したいこと等を残してください。

PTA とは…わが子を含むすべての子どもたちが、豊かな学校生活や地域生活を送れるよう、保護者と教職員によって学校ごとに組織され、会員の総意に基づき自主的・民主的に運営される団体。それぞれの学校の PTA は、青少年団体や婦人団体などと同じく、「社会教育関係団体」と位置付けられています。社会教育とは、学校教育以外の教育を指し、多様な人々により多様な場やさまざまな機会で行われている教育です。(杉並区教育委員会 PTA ハンドブックより)

もくじ

PTA 会計の仕事

- 1) 予算の実行(入出金管理)
- 2) 記録を取って管理する(帳簿をつける)
- 3) 決算書の作成
- 4) 次期予算案の作成
- 5) 総会での報告



会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

1)予算の実行(入出金管理)

①予算管理

- 予算とは、1 年間の PTA 活動(事業)を実行するための資金(収入と支出)計画 である

- PTA の活動と予算は連動している。

- ✓ 総会で活動計画を示し、活動に必要な予算を提示し、会員に合意を得る。
- ✓ そのうえで、活動に合わせた入出金管理を行う。
- ✓ 最後に決算報告をし、実際にどのように使われたのかを説明する。

②予算の執行

- 各専門委員会にかかる費用は、本部会計が一括管理する場合と、各委員会に管理を任せる場合がある。支払の煩雑さを考えると委員会で管理してもらったほうが良いと思われるが、委員会会計担当を決めて、出納のルールを事前に説明することが必要。
- 各委員会の活動計画のもと、予算の執行を行う。
- 各専門委員会で管理する場合は、仮払いの書類でのやり取りをする(後述)

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

2)記録をとる 金銭出納帳、預金出納帳、備品台帳などに記入

①金庫(小口現金)の管理

- 入金と出金については、必ず証拠書類と引き換えに行う。
- 金種表を作るなどして、現金残高は常に確認する。
- 帳簿(金銭出納帳)の残高と、実際の現金残高が同じか確認する。

②通帳の管理

- 帳簿(預金出納帳)の入金と出金が、通帳と同じか確認する。
- 帳簿(預金出納帳)の残高と、通帳の残高が同じか確認する。
- 通帳管理者と銀行印の管理者を別に定めるなどして、入出金の際は複数人で確認できる状況をつくる。

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

③備品台帳の管理 備品とは、使用見込年数が長期間にわたるもので、繰り返し使用できるもの。企業会計等では、10万円以上で、耐用年数が3年以上のものなどという判断基準がある。PTA 会計では税金が発生しないので、その定義と一致しないこともあるが、定義がまちまちだと混乱するので、定義を決めておいた方が良い。

例)「〇万円以上の物品は備品とする」など。

- 購入月日、種類、数量、金額、管理番号等を記入する。
- 見積書や納品書、保証書なども合わせて保存する。
- 備品の購入について、予算に計上していない高額な物品を購入する場合には、運営委員会(実行委員会)に諮り承認を得る。
- 各委員会から余った予算で備品を購入する要望が出ても、その委員会だけで判断せず、本部会計と相談して決める。

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

④領収書の受取り方

- PTA の分は PTA の分だけで会計し、個人の買い物と混ぜないこと。
- 領収証を発行してもらうこと。レシートは補助的なもの。
- レシートをもらう時に、「領収書とレシートの両方がほしいので、両方出してほしい」と伝える。
- 領収書の宛名は必ず「〇〇学校 PTA」と記載してもらう。
- 個人から受け取る領収書は「住所」「氏名」「内容」「朱肉印」が必要。特に講演謝礼など個人から領収書を受け取る場合は、浸透印(シャチハタなどの消える可能性ありのもの)ではなく朱肉印にて。
- 慶弔費など、領収証が発行されない支出については、その明細を残す。市販の出金伝票を使用すると便利(パソコンで作成しても可)。案内状や会葬御礼などがあればそれを残し、相手がわかるようにする。(※1)
- ネット通販の時は領収書の宛名に注意(個人名にならないか事前に確認)する。(※1)

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

※1 領収書が PTA 名宛ではなかった場合の対応策（例）

○○学校 PTA

会長 ○○○○様

以下の添付にある費用は、PTA 活動の経費として支出したことに相違ありません。

○○学校 PTAOO 委員会

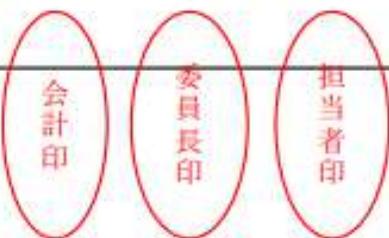
委員長 ○○○○ 印

購入者 ○○○○ 印

支出年月日：_____

支出内容 : _____

確認者 ○○学校 PTA 会計 ○○○○ 印



領収書

出金伝票

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

⑤領収書の発行の方法

- 通し番号を記入すること。
- 控を保存すること 複写タイプの領収書が便利。
- 記入間違いをした場合は切り取らず、大きく斜線を引き、折りたたんでステープラーで止めておく(無用な疑いをかけられないために)。

⑥銀行口座の管理

- 出来る限り振込みを使う。記録が通帳に記帳されるので、証拠として残しやすい。
- 支払いに関しても、一件、一件引き出す方法もある。帳簿をつけるのが楽になるが、ATM で時間がかかる。
- 通帳と印鑑は別々の人が管理し、入出金するときは二人で行くようにするとよい。
- 不便ではあるが、カードは作らないほうが危険は減理、盗難防止の意味もある。

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

⑦仮払いについて

- 申請書と精算書を必ず作成する。申請書兼精算書として一枚にするケースが多い。
- 申請書には、金額、承認印(例 会長と会計)、支出目的、領収日、申請者の氏名と捺印。
- 精算書には、精算日、支出内容、支出合計額、仮払金額、精算額、確認印(例 会計)支出と領収書が一致しているか確認する。

⑧帳簿や領収書の保管

- 最低でも 5 年以上保管する。ただし、PTA の場合は周年事業の積立金などとも関連するので、10 年間保管が望ましい。

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

3) 決算の処理

規約運営細則や前年度決算資料を確認しながら作成を実施する

① 決算書の作成

- その年の会費はその年に使い切るのが原則。無理な節約は繰越金を増やす。
- コロナ禍で活動が制限され、余ってしまった場合の対応をどうするかは、早い時期に方針を決めておくと良い。

例)今までに対応した PTA の例

- ✓ 児童生徒に物品を購入して渡す。
- ✓ 普段購入できない物品を購入して、PTA からの貸出物品※2として、学校で活用してもらう。
- 多すぎる繰越金については、どこかの時点でどのように扱うかを検討する必要あり。繰越金は、全体会計の10%程度が妥当。

例)今までに対応した PTA の例

- 繰り越されている会費は、本来は過去の PTA 会員の活動ために使用されるはずだったので、地域活動のために活用して還元する。
 - ✓ テントを購入して、地域活動の時に貸し出す
 - ✓ 防災用品を購入して、震災救援所の活動に生かす
 - ✓ 地域の人たちにも参加してもらえるイベントを企画運営する
- 広く社会に役立つように、災害の支援金として寄付する。
- 児童生徒の災害時の備蓄備品を購入して、保管する。

※2 PTA からの貸出物品とする理由

PTA からの購入物品を学校に寄付するためには、一定の要件が必要になることから、物品保有者はPTA であり、そこから貸し出しをするという方法を取るようにすると良い。

但し、その物品を破棄する際の費用も PTA からの支出となることも考えておく必要がある。また、備品であるとしたら、備品台帳への記載管理を忘れずに。

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

②積立金について

- 周年行事のための積立金、高額な物品(印刷機など)の購入のための積立金などが多いが、積立金は、何のための積立金なのかを明確にする。
- 余った予算を「とりあえず」積立金に回す傾向がある。目的、金額などをしっかりと決めたうえで実行する。

③会計監査

- 監査は、記載間違いがないか等を見つけてもらえるチャンスと捉えよう。
- 年に2回以上の機会があると良い。
- 監査では、通帳原本と関係書類との照合を行う。また、関係書類がない等、不明な入出金がないかをチェックする。
- 監査は独立性を担保するため他業務との兼任は避ける

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

4) 次年度予算案の作成

① 今年度活動と費用の関係性を検証

- 正当な活動をしているにもかかわらず予算が余ってしまったとしたら、予算と活動が合っていないということになるので、検証が必要。
- 翌年度の会費が入ってくるまでは前年度の会費で活動を続けて行かなければならぬので、予備費を設けて準備する。

② 会費の値上げ、値下げ

- 活動にあたって必要な予算としての会費であることを意識する。
- 節約のために、委員会が無理に節約していないかを把握する。
- 値上げに比べて、値下げは安易に考える傾向がある。単年度で判断せず、予算が余る理由をしっかりと確認する。

5) 総会での報告

- 年間1回の総会開催の場合(年度当初総会のみ)、卒業するPTA会員への報告が卒業後になるため、渡し方等に不都合が生じる。その場合は、年度内に当該会員には「案」として事前配布するなどの措置を講じる。

メモ欄

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

■最後に

- お金を扱う場合に、一番大事なことは証拠となる書類を残すこと。面倒かもしれないが、常に書類を残すということを意識する。
- お金の支払いは、常に書類との交換。書類がない場合には金銭のやり取りはしないと強く心にとどめる。
- PTA 活動を進めるにあたっての、心理的な不安の原因があるとしたら「自分がやっていることは正しいの？」
「やっていることに対して、他の人から何か言われないかしら？」
その不安感を持たないためには、
 - * 役員同士がよく話し合い、チームになって臨むこと。
 - * 会計にあっては、証明できる書類を残すこと。
- ★ それでも困ったらスクール・アドバイス・ネットワークに相談してください
- いつ・だれが・どこで・なんのために使途したかが書かれている。
- 一人の証明ではなく、関係する人(複数名)での証明をする。
- 非会員希望の保護者が増えてきている現状ではあるが、児童生徒への対応は、「わが子を含むすべての子どもたちが、豊かな学校生活や地域生活を送れるよう」という PTA の理念を基にしながら、役員や運営委員等で熟慮していく必要がある。

メモ欄



会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

会計・会計監査のチェックリスト

■通帳の管理について			
通帳、印鑑は施錠された場所に保管しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
通帳と印鑑は別々に保管しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
通帳、印鑑はそれぞれ管理者を決めているか	<input type="checkbox"/> 決めている	<input type="checkbox"/> 決めていない	
■通帳の記録について			
通帳の前年度末の数字が、前年度末の帳簿および前年度の決算報告書と一致しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
通帳の今年度末の数字が、今年度末の帳簿および今年度の決算報告書と一致しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
通帳の記録に不自然な出入りや、使途不明な出金はないか	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
振込の記録と振込にかかる資料が一致しているか ・請求書、振込金受取書、A T M の利用明細等	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
入金の記録と入金にかかる資料の金額が一致しているか ・PTA 会費の明細、A T M の利用明細等	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
複数の通帳がある場合、その全てについて上記を確認しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
■帳簿の記録について			
現金出納帳に記載している経費と領収書が一致しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
領収書に記載漏れはないか（金額の訂正は無効） ・日付・宛名・内容・金額・発行者の住所、名前	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
領収書の宛名が正しく記載されているか ・○○学校 PTA	<input type="checkbox"/> されている	<input type="checkbox"/> されていない	
複数商品を一度に購入した時、領収書に加えて明細が分かる資料があるか	<input type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	
領収書のないものについて、代わりとなる書類があるか ・慶弔内容の案内や礼状・日付、金額、相手先が分かる資料等 ・PTA 活動での購入物であることを証明できる資料があるか	<input type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	
残高の計算に誤りはないか ・パソコンでの帳簿での数式の間違いはないか	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
実際の小口現金と帳簿の残高が一致しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
■備品の管理について			
備品台帳を保有しているか	<input type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
備品台帳に記載された備品が実際に存在するか	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない	
購入した備品の請求書や納品書等が保管されているか	<input type="checkbox"/> されている	<input type="checkbox"/> されていない	

会計の原則を知る

各単位 PTA でのやり方については、ここでの内容を踏まえて運用ください

個人情報の保護について

平成 29 年5月 30 日からの個人情報保護法改正に伴い、PTA も遵守すべき団体として位置づけられた。

守るべきこと

- ① 個人情報を取得する際、何の目的で利用するのかを本人に伝える
- ② 取得した個人情報を、決めた目的以外に使用しない
- ③ 取得した個人情報を安全に管理する
- ④ 取得した個人情報を無断で他人に渡さない
- ⑤ もし「自分の個人情報を開示してほしい」と本人から言われたら断ってはならない

そのために PTA として、どのような対応をすればよいか

- ① 事前に同意の取り方、配布、管理の方法を話し合い、ルールを作る
- ② どこまでの情報を得ておけばよいかを考え、必要以上の情報は収集しない
- ③ 同意が得られない場合は、名簿に載せないなど必要な対応をする
- ④ 保管期限を決めて、適切に処分する
- ⑤ 管理方法(管理場所・管理者)を決めて対応する

NG 例：・学校から児童生徒名簿への記載情報を提供してもらう
・給食費徴収時に PTA 会費も一緒に引き落としてもらう

困ったときは

何か困ったときは、
ご相談可能ですので以下まで相談ください

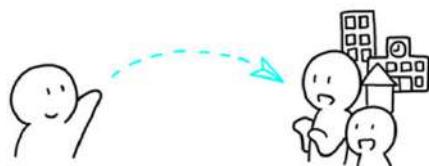
NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク
受付時間：平日 午前10時から午後6時
(祝日・年末年始を除く)

受付方法：

電話またはEメールでご連絡ください

電話：03-5347-2372
Eメール：pta@sanet.jp

子どもたちと共に、 学級委員として楽しい一年を過ごしましょう！



三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員
文部科学省 CSマイスター
ひとまちみらい研究所 代表
四柳 千夏子

プロフィール



四柳 千夏子
(よつやなぎ ちかこ)

文部科学省CSマイスター

三鷹市
統括スクール・コミュニティ
推進員

ひとまちみらい研究所

PTA : 平成15, 16年 三鷹市立第七小学校PTAにて代表
20, 21年 三鷹市立第四中学校PTAにて会長
16, 20, 21年 三鷹市公立学校PTA連合会副会長

放課後子ども教室（三鷹市地域子どもクラブ）：
平成16～18年 代表兼クラブコーディネーター
19～25年 地域コーディネーター
令和5年 4月～ 七小あそびバナナ 代表

地域活動 : (現職)
〃 青少年対策第七地区委員会会長
〃 三鷹市青少年委員協議会会長
〃 NPO法人三鷹市民協働ネットワーク副代表理事

地域×学校 : 平成21, 22年 三鷹中央学園CS委員会副会長（支援部）
23, 24, 25年 同 会長
23～令和4年 一般社団法人みたかSCサポートネット代表
25年～（現職）文部科学省CSマイスター
令和元年～（現職）三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員

書籍紹介

- 「学校と社会をつなぐ～これからの人づくり・学校づくり・地域づくり～」
(学事出版)
- 「PTAでもPTAでなくともいいんだけど、保護者と学校がこれから何をした
らしいか考えた」（大塚玲子著）（教育開発研究所）



子どもたちの「しあわせ」とは？

学校に行くのが
「楽しい！」と思える
こと

3

子どもたちにとって「楽しく通える学校」はみんなの願い



「クラス」という、小さいけど大きな世界



子どもたちが楽しく学校に通うためには、
いいクラスづくりが大事！



子どもたちがいいクラスづくりができるよう、
保護者はどうサポートできるのだろう？

ブレイクアウトルームで交流タイム①

▶自己紹介

- ・学校、学年、お名前
- ・委員になった経緯

▶テーマ

- ・学級委員って何するの？

学校は違えど、同じ「学級委員」さん同士！
まずは、お互い知り合いになりましょう

メインルームで意見の共有①

- ・「なるほど！」 「へえ、そんなことできるんだ」 目からウロコのお話、ありましたか？

子どもたちをとりまく世界

▶デジタルネイティブ世代

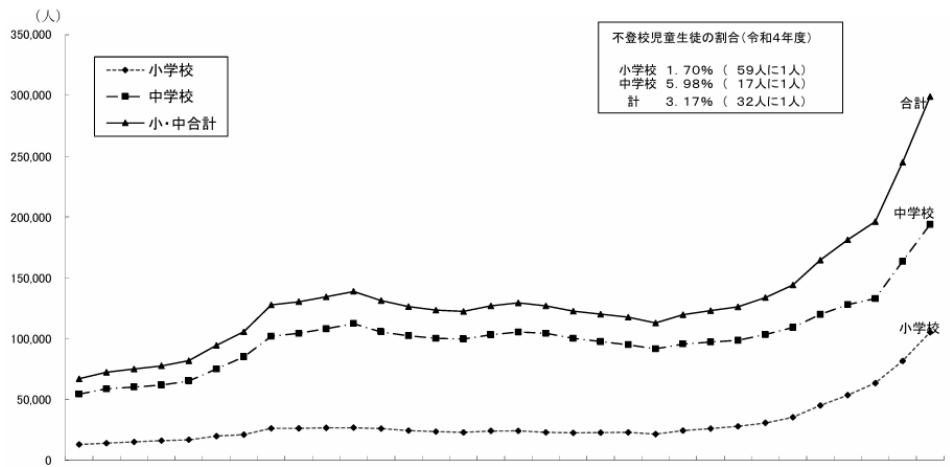
スマホ、タブレットをあたりまえに手にしている
ネット情報、SNS、オンラインゲーム
会話をせずに買い物できる
⇒私たちの想像を超えてくる！？



▶コロナ禍の影響

がまんを強いられた幼児期
圧倒的に足りない「体験」
⇒この先の心身の成長にどんな影響があるのだろう？

<参考2> 不登校児童生徒数の推移のグラフ



(注)長期欠席者のうち、不登校を理由とする者について距離、不登校とは、町からの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的原因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはいわゆる「ともできない状況」にある者(たゞけ)、疾気や経済的理由、新型コロナウイルスの感染阻害によるものを除く。をいう。なお、長期欠席者は、令和元年度調査までは毎月間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒。令和2年度調査以降は、「児童・生徒指導要綱」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒について調査。

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について
https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_1.pdf

ブレイクアウトルームで交流タイム②

►テーマ

- いいクラスになるために、
保護者にできることは何だろう

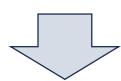
学級委員だからこそできること
学級委員じゃなくても一人の保護者として

メインルームで意見の共有②

- ・「なるほど！」「へえ、そんなことできるんだ」目からウロコのお話、ありましたか？

PTAは変わらるのだろうか？

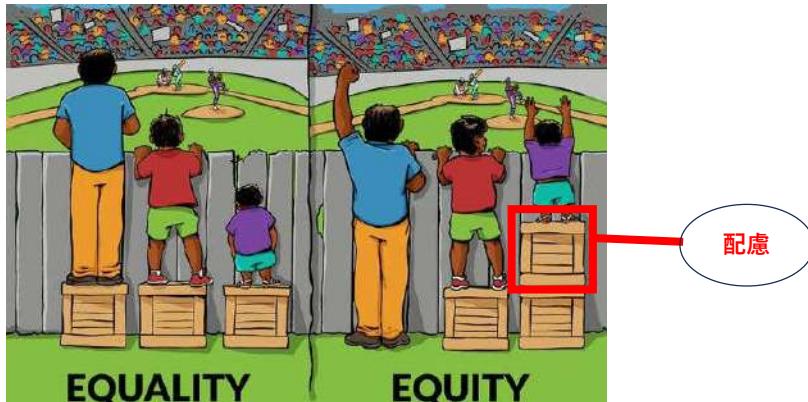
- ・PTAは強制労働？「やらされている」？
- ・PTA不要論
- ・学校の「サービス業」化？
- ・PTAは任意加入
- ・役員（担い手）になるのはイヤ！



もっと、自由に、
今必要なことをやってみる



みなさんはどう思いますか？



PTA任意加入問題は、平等・公平問題に…
役員だって同じ保護者。
全員で考えなくてはいけない問題です。

保護者同士の横のつながりを

会って、顔見て、話すこと

先生×保護者
保護者×保護者
保護者×子どもたち

⇒対話の場づくり
⇒雑談から生まれるもの

⇒いいクラスづくり



HOW どんなふうにやるか

WHAT 何をやるか

WHY 何のためにやるのか

わが子のために。
クラスの子どもたちのために。
自分たちのために。
やらされ感のない、
楽しく前向きなPTA活動を！



未来志向！PTA活動

～学校・地域の関わりの中で～



特定非営利活動法人
スクール・アドバイス・ネットワーク

理事長 生重 幸恵

Copy right © School Advice Network all rights reserved

1 生重 幸恵 Ikushige Yukie プロフィール

北海道出身

PTA活動から出発し、子供たちの教育活動（学校教育・学校外教育）支援を通しての「地域活性化」を目指して、近隣学校のPTA会長経験者とともに特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワークを設立し、以来代表を務めている。2016年より、カンコー教育ソリューション研究協議会の学校担当理事として、全国の学校を回り、学校を中心に地域を巻き込むキャリア教育の啓蒙活動に邁進。

- ◆ 【文部科学省】中央教育審議会 第9期中央審議委員
中央教育審議会 生涯学習分科会委員
中央教育審議会 高大接続特別部会委員
中央教育審議会 実践的な職業教育を行なう
新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会委員
中央教育審議会 地域とともにある学校の在り方に
関する作業部会委員
中央教育審議会 学校地域協働部会委員
コミュニティ・スクール企画委員会委員及び推進員
(C S エグゼクティブ)
- ◆ 【内閣府】 地域活性化伝道師
- ◆ 【農水省・文科省・総務省】三省連携事業
「こども農山漁村交流プロジェクト」推進協議会委員

- 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長
- キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 代表理事
- カンコー教育ソリューション研究協議会 理事



2

PTAって何が負担？



3

何が負担か考えて、抱え込まず
誰かと話をしてみませんか？



4 PTAの存在意義は・・・

子どもたちの

豊かな体験



5 日本社会の問題点

少子高齢化の進展

- 将来の負担が次世代へ
- 社会全体の活力低下

社会格差の増大、固定化

- 一人一人の意欲衰退、社会の不安定化

地域社会、家族の変容

- 社会の絆の喪失、個々人の孤立化

産業構造・雇用の変化

- 失業率、非正規雇用の更なる拡大

グローバル化の進展

- 国際競争力の低下・産業等の空洞化が懸念
経済規模の拡大のみの限界



子供たちの未来

現在の職業の多くは、今後なくなっていく

今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

マイケル・A・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）

子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）

7 | すでに身近な生活に・・・

人工知能AI



サービス

新宿伊勢丹で「人工知能」による接客サービス
利き酒、ソムリエ、ファッショナブルアイテムの提案・・・
(2016年10月13日 SENSORS.jp)

教育

ジョージア工科大、TAが人工知能だったことに
学生が誰も気づかなかつた (2016年5月12日 Gizmodo US)

料理

IBMのワトソンシェフが創作レシピを考案
料理本を出版へ (2015年4月10日 CBS Interactive)

医療

人工知能で病名突き止め患者の命救う
国内初 東京大学医科学研究所 (2016年8月4日 NHK)

金融

三菱UFJ信託、AIが運用する
投資信託
(2016年5月8日 日本経済新聞)

芸術

人工知能が描いた
「レンブラントの新作？」
(2016年4月14日 WIRED)

経営

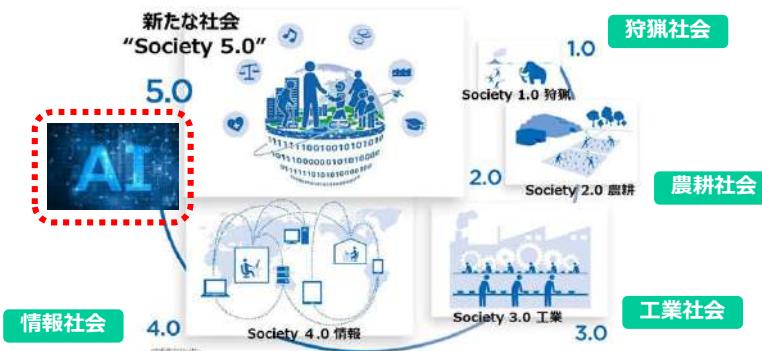
日立製作所 企業の経営判断を支援する人工
知能システムの実現へ
(2016年6月2日 日立製作所ニュースリリースより)

Society 5.0 超スマート社会 ・・・今までの事例が通用しない世の中へ

シンギュラリティ

人生100年時代

IoT・AIと共存・協働



※日本が目指すべき未来社会の姿として内閣府が提唱

出典：内閣府HPより

9 | 経済発展と社会的課題の解決を両立する「Society5.0へ」

経済発展

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 國際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

社会的課題の解決

- 温室効果ガス(GHG)排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 高齢化に伴う社会コストの抑制
- 持続可能な産業化の推進
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータ等の先端技術を
あらゆる産業や社会生活に取り入れ、
格差なく、多様なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供

経済発展と社会的課題の解決を両立

(内閣府作成)

10 | 社会が変わる

これまでの社会

工業化社会

知識・技能の「習得」と「再生」

【情報処理力】

価値の持続継承

1人のリーダーとフォロワー

同質化社会で積み上げるキャリア

同一文化の中で暗黙の理解

これからの社会

知識基盤社会

知識・技能の「活用」

【情報編集力】

新しい価値の創造

個々人がリーダーシップを発揮

自分のキャリアを切り拓く力

異文化の中で多様性の許容

変化が激しい、予測できない社会において、必要とされる知識・能力は？

「学び続けられる人」の育成

11 | 社会で自立して活動していくために必要な力

新しい学力観～学力の3要素～

知識・技能

十分な知識・技能を習得する

思考力 判断力 表現力

自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するためには必要な「思考力・判断力・表現力等の能力」を育む

主体性 多様性 協働性

これからの時代の社会で生きていくために必要な
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を養う

12 次の教育課程の方向性

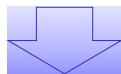
キーワードは、「社会に開かれた教育課程」

資質・能力の要素を3つの柱とする。

何を知っているか、
何ができるか
(個別の知識・技能)

知っていること・できることを
どう使うか
(思考力・判断力・表現力)

どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか
(学びに向かう力・人間性等)



変化の中に生きる社会的存在として、
力をつける

12

13 主体的な学びとは

第1部 学習指導要領改訂の基本的な方向性

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。子供自身が興味をもって積極的に取り組むとともに、学習活動を自ら振り返り意味付けたり、身についた資質・能力を自覚したり、共有したりすることが重要である。



学校での学びが将来につながっているか。
志望大学へ合格するための学びでは決してないはず。



出典：次期学習指導要領の答申資料より（2016年12月21日）

各学校種におけるキャリア教育推進のポイント

小学校

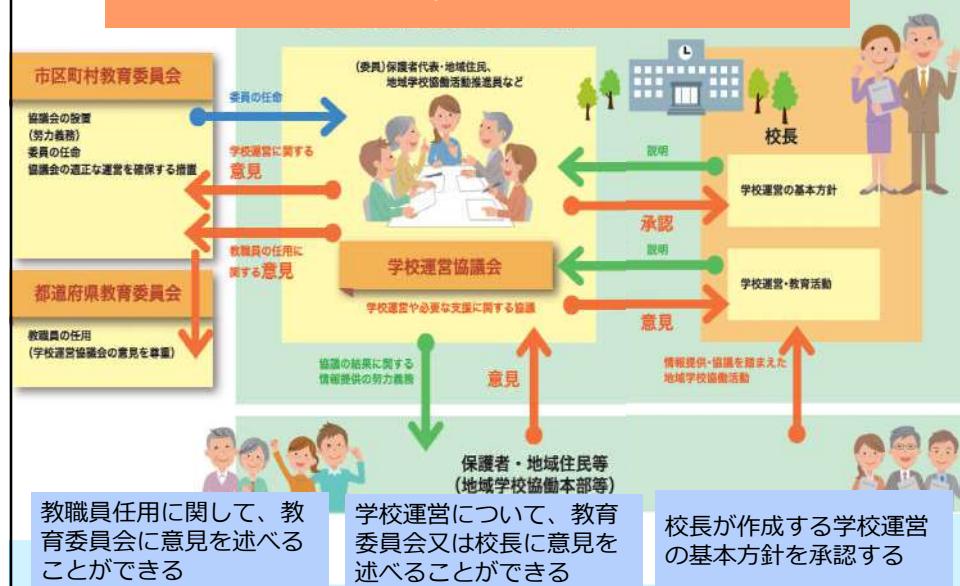
- 低学年：自分の好きなこと、得意なことやできることを増やし、様々な活動に意欲と自身を持って取り組めるように
- 中学年：友達のよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるように
- 高学年：苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れずに取り組み、そのことが集団の中での有用感や自尊感情につながるように

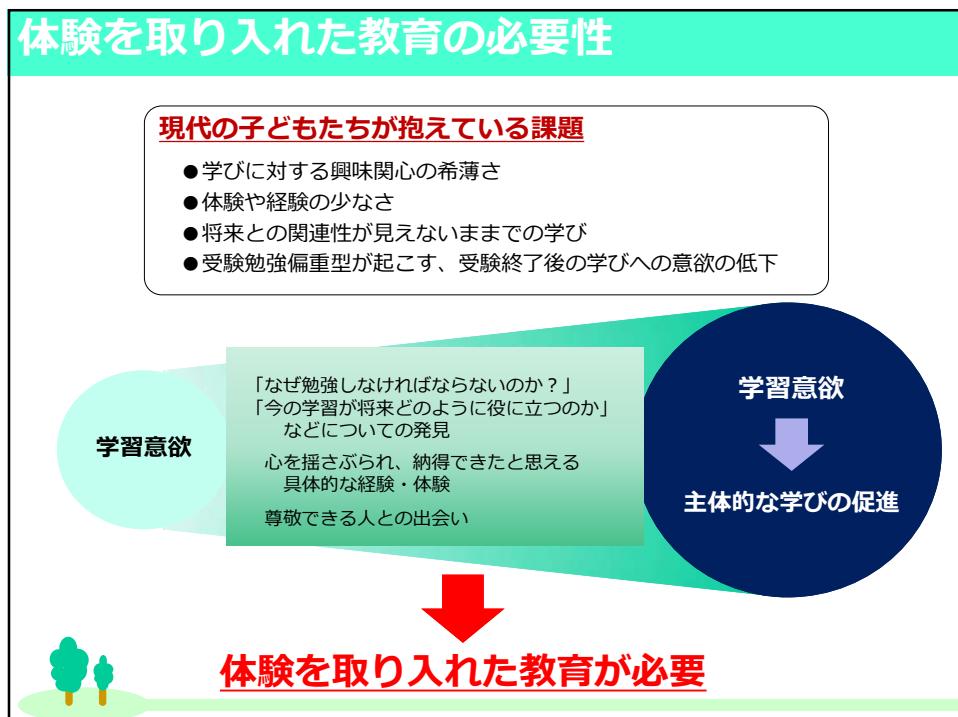
中学校

- 生徒が長期的展望に立ち、主体的に進路選択できる力を身につけること
- キャリア教育の中で夢や目標を明確にすることで、学習意欲の向上につなげること
- キャリア教育の学びの中で獲得してきた能力や価値観を、進路選択の重要な要素として結びつけること

コミュニティ・スクールとは

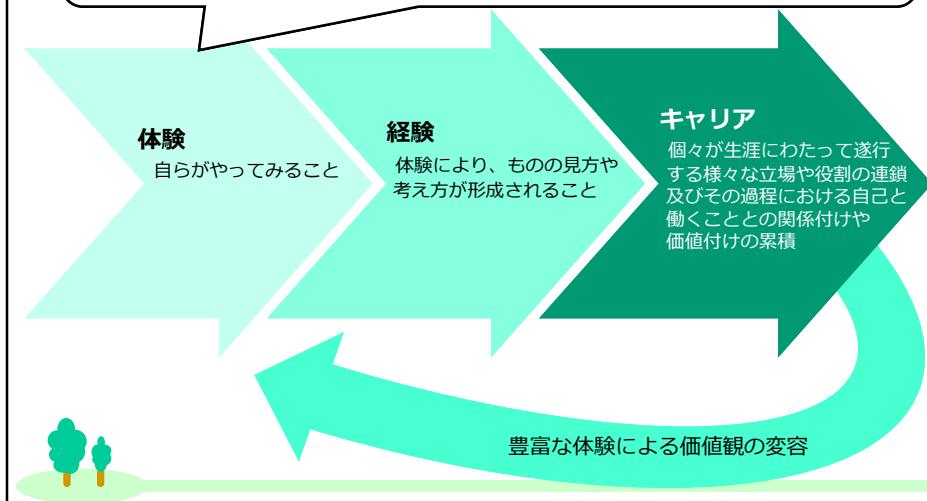
学校運営協議会を設置した学校





体験によって生まれる学び

- 教室が「リアルな世の中」と直結する
- 外部人材が使命感や誇りをもっている「本物の姿」に接する



19 |

PTAの存在意義は・・・・

子どもたちの

幸せ・笑顔



20

おおらかな気持ちでの家庭教育を！



21

ところで・・・
各々がすべきことは 何？

学校で
指導すること

家庭で
しつけること



22 9割以上の保護者が、
基本的生活習慣のしつけは家庭の役割
だと認識している

学校の
役割



社会的行動
に関する指導

家庭の
役割



基本的生活習慣
のしつけ

出所：令和3年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究～『家庭教育』に関する国民の意識調査～

23

ところで・・・
PTA活動と家庭での「しつけ」
どのような関係があるの？



24

活動を進めるための話し合い



その答えは・・・

PTA活動の本質を理解することで分かる

広報活動

子どもの教育環境整備活動



25

PTAは、

家庭教育

P・・・家庭と

学校教育

T・・・学校が

A・・・連携する・共に力を合わせる



26

教育の原点は家庭にある よりよい「しつけ」



家庭教育をどう充実させるか

課題はたくさん・・・

- ❖ 少子化で・・・子ども育てるのは初めての家庭
- ❖ 核家族で・・・子育てをどうしたらいいか分からぬ家庭
- ❖ 共働きで・・・両親ともに忙しい家庭

27

家庭において大切なこと

- ♣ 親子の会話を通じて言語力を育む
- ♣ 多くの人と交流する機会を与える

兄弟姉妹も少なく、核家族化で会話が少ない・・・でも、

→家庭と家庭のつきあいや交流を進めると、

子どもが多くの人と関わる
親の悩みも共有できる
アドバイスし合える

28 PTA役員が目指す大切な活動

「教育の原点は家庭にある」ことを踏まえ

- ◆家庭教育を充実させるため
- ◆子どもたちの充実した教育環境整備のため

家庭同士の連携をはかる
学校との連携をはかる

その推進役になること

家庭教育充実のための勉強会実施



広報活動



行事の運営



PTA活動のトータルマネジメント

家庭同士のつながり合いの場づくり



子どもの教育環境整備活動



学校との連携



30

ちなみに・・・

学校が行うべきこと

学級活動、学校行事、部活動等を通じて
他者との人間関係構築能力を育成する

地域に期待されること

挨拶活動、地域活動を通じて
子どもへの役割を与える

31

子どもの成長過程において必要なこと

地域の教育力

- 子どもの主体的活動の場の提供
- 遊び場の提供
- 地域行事の場の提供
- 子どもの見本となる行動
- 有害情報から子どもを守る
- 安全・安心な地域づくり

家庭の教育力

- 円満な家庭
- 受容的な雰囲気
- 好ましい生活習慣の確立
- ルールの確立
- 地域の人との交流
- 健康・安全への配慮

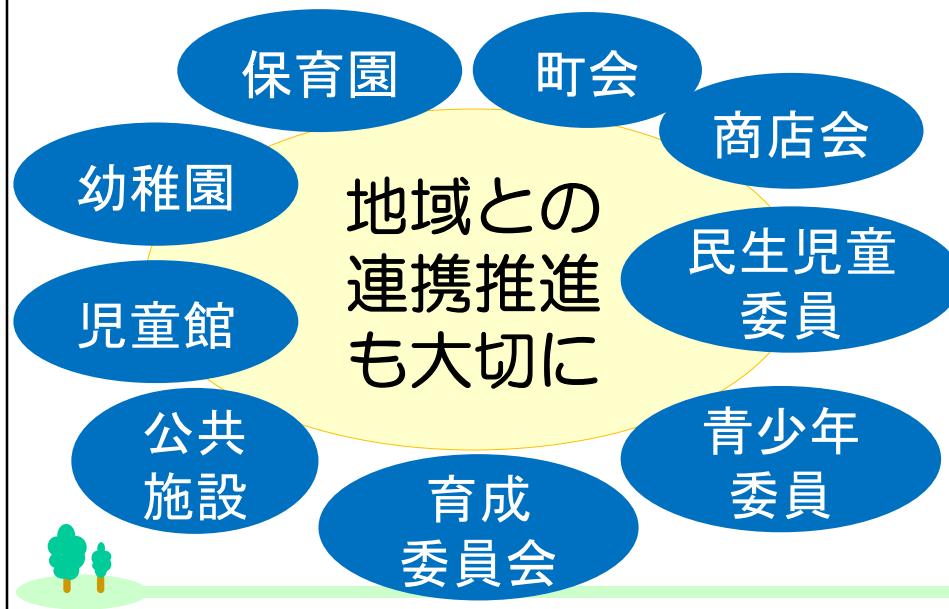
学校の教育力

- 信頼される教師
- 教師の毅然とした態度
- 児童と教師の人間的なふれあい
- 協力し合う雰囲気
- 開かれた学校づくり
- 地域との連携
- 安全・安心な学校づくり

行政の支援

「子どもの成長過程における発達資産についての調査研究(平成17年度)」
(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

32 | 会長・副会長としては・・・



33 | 活動を工夫しながら・・・

すべての活動は

2 : 6 : 2

率先

同調

傍観

の法則



34|活動を工夫しよう！

- ❖活動の見直し
- ❖活動時間帯の工夫
- ❖短時間で活動するための工夫
- ❖メール・SNS等オンラインを活用した活動の工夫
- ❖分担した活動等の工夫



35|

子どもたちから学ぶものはとても多い

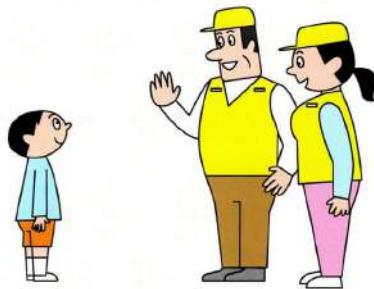
子どもたちとともに
自分も楽しんで
自分も育って

子育ては
親育ち

子どもは親の姿を見ています



＼ 1997年、防犯デビュー ／



市民防犯インストラクター
武田 信彦 ヨッシー



「市民防犯」を伝えています

＼ 教職員の研修会 ／

市民防犯

II

一般市民ができる防犯



＼子どもたちの防犯セミナー／



フジテレビ ホンマでっか！？TV



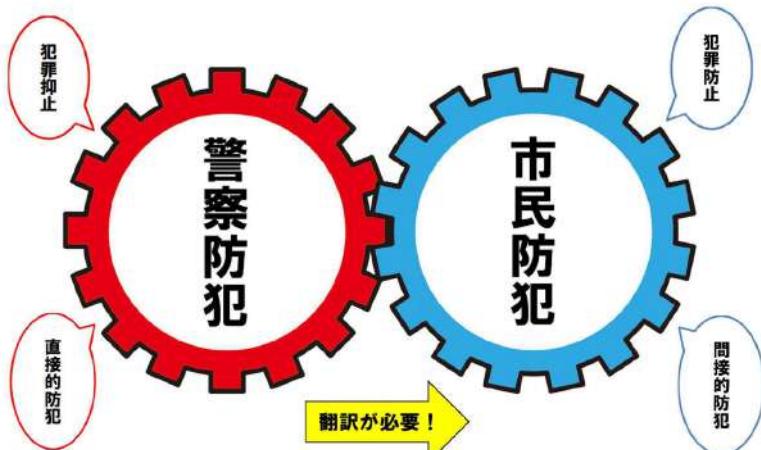
NHK ニュース7



日本テレビ「真相報道バンキシャ！」



治安維持のパートナー



市民防犯

- ①犯罪が起きにくい環境づくり
②助け合いの環境づくり
- ↓
- 笑顔とあいさつの見守り

日本って、安全な国でしょ？

70万3,351件

2023年刑法犯の認知件数



“安全”は評価が難しい…



★ 世界の安全都市ランキング ★

- 1位 コペンハーゲン（デンマーク）
- 2位 トロント（カナダ）
- 3位 シンガポール
- 4位 シドニー（オーストラリア）
- 5位 東京

※世界60の主要都市。防犯、医療、インフラ、ネット、環境などを含む

2021 Economist Impact "Safe Cities Index"より

犯罪発生の実態とは？！

- ★ 刑法犯の認知件数
- ★ 暗数
- ★ 前兆事案

子どもの防犯、なぜ必要なの？



子どもの防犯、待ったなし！

- ①子どもだけになりやすい環境
- ②どこでも生じる犯罪被害リスク



子どもの防犯対策が欠かせない！

子どもの防犯対策の考え方

文化習慣+社会政策=「子どもだけ」環境広げる



個人にだけ押し付ける防犯対策は不可能！



社会・地域全体で

見守り・助け合う環境が欠かせない！

公共空間での安全

自己責任の捉え方

意識レベルのちがい

歐米

自己責任 > みんなで守る

日本

自己責任 < みんなで守る

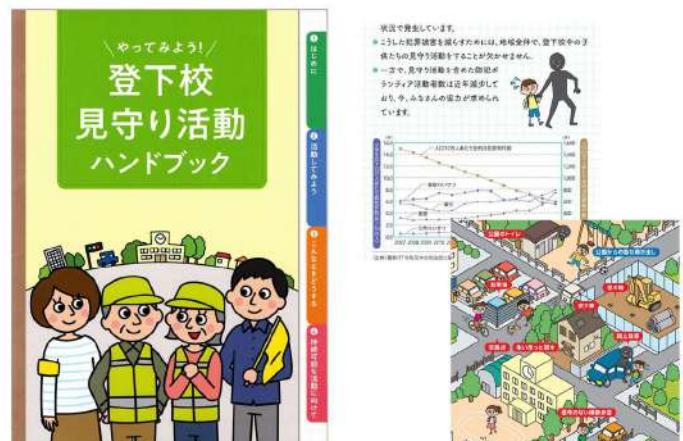
→「地域育て」の文化習慣が根強く残る

[政府] 登下校防犯プラン



おもに通学路における安全確保を強化

[文部科学省] 登下校見守り活動ハンドブック



[警察庁] 犯罪被害等防止マニュアル

危険な場所って、どこ？



警察庁→生活安全局のHPにて公開中

子どもの犯罪被害が発生している場面

① 道路

人通りや人の目が少ない路上で下校時や公園からの帰宅時に声をかけられた事例があります。

■ 大通りから一本入った住宅地 ■ 片側が田畠



早朝や夕方の時間帯は歩行者が少ないとから、特に注意しましょう。

予防策 一人で歩く時は、急に近づいてくる人に気をつけて歩く

② 駐車場・駐輪場

スーパー・コンビニなどが営業する夜の早い時間帯に、駐車場に面する歩道で声をかけられた事例があります。

■ 車内でもちびせ ■ 駐輪場



犯罪を計画する者が、車中で待機するなど、駐車場・駐輪場を利用しつつ対象を物色している可能性があります。

予防策 「車で送ってあげる」と言われたら断って逃げる

警察庁犯罪被害防止マニュアルより

子どもの犯罪被害が発生している場面

③ 公園

公園内の遊具や木の陰といった見通しの悪い場所で、被害に遭った事例があります。

■ 遊具の影 ■ 見通しの悪い木陰



植栽や樹木で見通しの悪い公園では、子供たちが複数人で遊んでいても注意が必要です。

予防策 公園では見通しの悪い場所で遊ばない

④ 集合住宅の共用部分

道路上から住人のふりをして後をつけてきた人によって共用玄関や廊下で被害に遭った事例があります。

■ 共用玄関 ■ 階段



このほか、廊下やエレベーターなども、自宅のすぐ近くなので気がゆるみがちですが、外から見えにくい構造の場合には、注意が必要です。

予防策 後ろからついてくる人がいないか気をつける

警察庁犯罪被害防止マニュアルより

女性の犯罪被害が発生している場面

① 道路

人通りが少ない住宅街や田畠に沿った道路上で夜早い時間帯に被害に遭った事例がありました。

■人通りが少ない住宅街 ■片側が田畠



このほか、道路の片側が緑地、川、ビル等の駐車場など歩道の片側に人目がない場所がある路上を歩く時には、前後から近づいてくる人に注意しましょう。

予防策 遠回りになつても
人通りがある道を歩く

② 駐車場・駐輪場

夜間帰宅途中の女性が追跡され、駐車場で被害にあった事例、駅近辺の駐輪場から自転車に乗って帰宅しようとした際に、駐輪場の出口付近で被害に遭った事例がありました。

■駐車場



■駅の駐輪場



予防策 人が近づいてきた場合は
警戒して離れる

警察庁犯罪被害防止マニュアルより

女性の犯罪被害が発生している場面

③ 公園

自宅への近道の公園内の通路で、人通りが少ない平日の昼間に徒歩で帰宅途中に女性が被害に遭った事例がありました。

■ベンチやトイレ



■木陰や植え込み



人通りの少ない公園は昼間でも、ベンチやトイレ、木陰などの外から見えにくい場所を通る時には注意が必要です。

予防策 人が少ない時間帯の
公園を通るのは避ける

警察庁犯罪被害防止マニュアルより

④ 集合住宅の共用部分

路上から後をつけられ、集合住宅の共用玄関や階段で女性が被害に遭った事例がありました。

■共用玄関



■階段



集合住宅の共用部分は人通りも少なく、人目につきにくい場所や外から見えにくい場所が少なくありません。

予防策 集合住宅に近づいたら
後ろからついてくる人などに
気を配る

警察庁犯罪被害防止マニュアルより

通学路の防犯対策の考え方

ひとりになる瞬間

子どもだけの瞬間



減らそう！

無くそう！

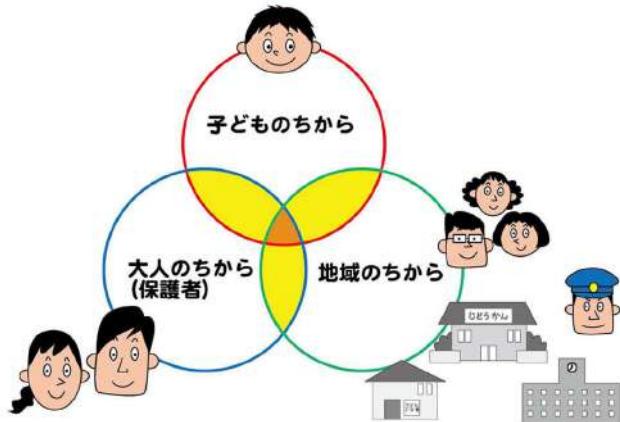


犯罪が起きにくい環境づくり

PTAができるることは？



“子どもだけの瞬間”を減らそう！



“姿を見せる” = 防犯効果アップ！



明るいデザインで見守りを！



ライフスタイルにあわせて



＼子ども110番の家の目的／

- ①子どもを守る防犯意識の啓発
 - ②危険な状況から子どもを守る

犯罪が起きているから取り組む ×
犯罪が起きないように取り組む ◎



地域であいさつ、必要ですか？

あいさつ なぜ必要なの？

距离M-D-M 距离

```

graph TD
    A[地域防犯] --> B[↑]
    B --> C[意識のズレ]
    C --> D[↓]
    D --> E[防犯指導]
  
```

中日新聞

防犯上の“あいさつ”的意義とは

あいさつは、
助け合いを育む

大切な基礎力！



警察へ相談してもよいの？



警察への通報・相談

110番

#9110

所轄の警察署



情報がないと
動けません！

子どもへの防犯指導、
コツや注意点は？



防犯対策のポイント

注意が必要なのは…

ひとりになる瞬間

なるべく…

ひとりにならない！ひとりにしない！

子どもへの防犯指導のコツ

★ 人を決めつけない！

★ 場所を決めつけない！

★ 防犯力を引き出す！

Get Go!! 市町村防犯プロジェクト【講演資料】

子どもの防犯 1

子どもがだけになる「瞬間」に注意！

子どもがだけになる「瞬間」には、
自殺リスクがあるからやさしく守る
必要があります。必ず身へおもひでなくして、
集合住宅の敷地・外周・外縁・自宅の玄関周り
など「防犯盲点」でし十分注意してください。
肯定の感情ではなく、ひとりになる瞬間に
着目して防犯行動を行いましょう。



Get Go!! 市町村防犯プロジェクト【講演資料】

子どもの防犯 2

子どもがもつ防犯力を高めよう！

子どもが防犯力は「防犯や「やがてやんだ」「生きる力」そのものです。
分かりやすい言葉で図解で説明してもらいましょう。



身を守る ≠ 暴力



危険からは逃げるが勝ち！



SOS・相談も護身術！



助けをもとめる、
相談することは、きっと悪いことではありません！

助け出してもらわなければ、 助からないことがある



ネットは密室になりやすい



被害者にも、加害者にもならないために。

広がる相談窓口

#9110 警察「相談ダイヤル」、少年相談窓口

#8103 警察「性犯罪被害相談電話」

#8891 性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター

法務省「子どもの人権110番」(ネットトラブル)

法テラス「犯罪被害者支援ダイヤル」

法務局「女性の人権ホットライン」

(ストーカー、リベンジポルノ相談)

セーファーインターネット協会「セーフライン」

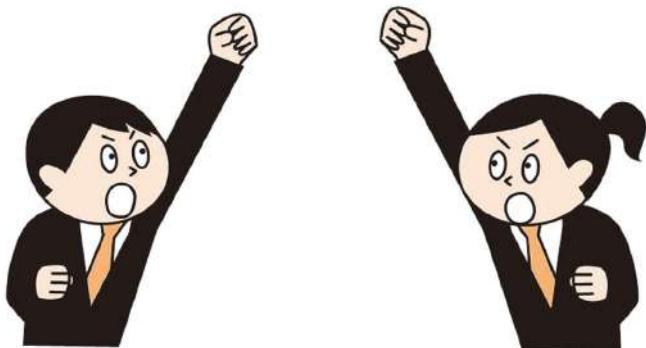
(リベンジポルノの画像削除への通報) など



犯罪に巻き込まれないことも、 自分を守る防犯対策！



自分を大切にしよう！



人と人がつながり合える 防犯対策を！



子どもたちへ届く、大切なメッセージ



＼学生防犯ボランティアが活躍中／



あいさつの種まきで、
見守りの花を咲かせましょう！



＼6月末、著書が発売されます／

＊＊＊
10歳までに身につけたい
自分を守る防犯力（仮）

青春出版社

子どもの力が主役の防犯ブック！

PTA活動セミナー2025

書記・広報活動のブラッシュアップ

2025年5月 10:30-21:00

- 1 PTAの情報発信
- 2 DXを意識する
 - ★ ディスカッション & 発表
- 3 情報発信のポイント

[参考]
経済労働省「労働力調査(基本集計)」2018年調査 杉並区統計書(令和6年版) 杉並区統計(人口/令和7年4月)
日本PTA全国協議会 文部科学省

TFoF 国際育児研究法人
チューニング・フォーザ・フェューチャー

杉並区公式情報サイト すぎみ学園祭



すぎみ学園祭でのアート展示



海外での ASAGAYA PRイベント(UK)

講師: 手塚佳代子

NPO法人「チューニング・フォーザ・フェューチャー」(TF)代表、著書「手塚佳代子、南は、ソウルワードの社会貢献、利他社会構築を経て2010年から、近所による地域情報発信者の支援活動に「コロナクリエイターズ」として携わりながら、みずからもデザイナ活動を行なう。」

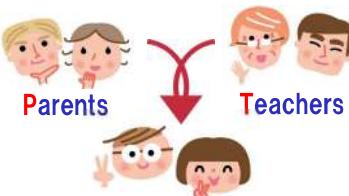
イベント「世博会・博覧会」、「当地産品会場」開設運営、数寄屋横丁での移住者会のコーナー等を区内、国外で実施。無差別支援する地元の地政学者等の取扱職務委員会を多數組み、料金収入で、学校教育コーディネーター等を経て、移住者・地元住民の活動を支援する。

プライベートではシェアファームでの農業、ごけ茶栽培を長年行なう。

ONPO法人「TF杉並区連携の主な事業
杉並区公式情報サイト「すぎみ学園祭」
「みづけ公式インスタグラム」
杉並区連携事業「スキナ・ウエ・ミュージアム」
絆・苦難「小さな絆あるあるプロジェクト」
移住事業「Experience Sugimi」
「すぎみの城ごみ」等

1 PTAの情報発信

① PTAの意義を再確認しましょう



大人の学びあいの場

子どもたちが学校で、地域で、より豊かに「しあわせ」に成長していく上で、またその過程で、大人同士のつながりを生み出す大きな役割を果たすものです。

「杉並区教育ビジョン2022」

PTAの本旨は保護者と教員が学びあい(社会教育)、協力・連携することによって得られた成果を児童、生徒に還元すること。 参考:日本PTA全国協議会、文部科学省

1 PTAの情報発信

書記(庶務)の役割

PTA活動の事務的なことのまとめ役です。「PTAハンドブック」では、具体的には、「総会や運営委員会、役員会の開催通知、次第、議事録のほか、活動の報告書(運営委員会だより)などを作成します」と定義されています。

広報の役割

PTA広報の役割は学校の魅力、PTA活動の魅力を伝えることが目的です。広報誌は、この目的を達成するためのツールです。企画から担当できる自由度の高さは楽しみでもありますが、それだけに責任をもって活動しましょう。

→ 時代の変化にともなって、組織や個人の考え方も変化している

書記はPTA活動への理解・協力を得るための情報収集・発信を担う

広報は学校・PTAの活動状況、魅力を伝え共感を得る役割を担う

書類作成は手段であり、その先の情報到達を目指しましょう。

TFoF 国際育児研究法人
チューニング・フォーザ・フェューチャー

TFoF 国際育児研究法人
チューニング・フォーザ・フェューチャー

1 PTAの情報発信

② 活動のポイント

作業の効率化

情報到達度の向上

これからの活動スタイル を意識・提案

有職率上昇・核家族化等など会員負担を軽減し、**本当に必要な活動**を確認し反映していく。

- 記録実務の改善
- デジタル・ネットの活用
- 自身が係わる意義・必要性

誌面づくりは目的でなく手段。情報が**読み手に到達し理解される**ことを重視する。

- 読み手配慮
- 効果測定の工夫
- デジタル・ネット・AIの活用

会員の減少・多様化、関連組織との連携・役割分担を念頭に**新しいスタイル**を提案。

- 独自の仕組み・取り組み
- PDCAで検証
- デジタル・ネットの活用

4 1 PTAの情報発信

③ メンバーの得意分野・興味関心・環境に配慮

「なんで私がやらなくては、いけないの？」

➡「自分のスキルや考えが生かされた」「かかわってよかった」と感じる活動を。

**新しいPTA
負担感の少ない
PTA**

●課題一改善

- ・これまでの慣習で**不要・無理と思えるもの**はないか
- ・打ち合わせの曜日・時間帯、オンラインの活用は適切か
- ・同校内の別組織と**重複した不要な取り組み**はないか

●前例にとらわれず挑戦(トライ&エラーを理解してもらえる環境づくり)

扱い手不足を解消する取り組み

●人材は**適材適所**か

- ゆるやかなネットワーク化・サポート体制の導入
- 専門分野・単発ならサポートしてくれる会員もいる
- 活動に直接関係のない負担はないか

5 TnFxF

1 PTAの情報発信

適切な人数で作業

- 多人数・分母が多いほど良いもの
- ・企画などのアイデアだし
- ・調査活動 情報収集
- ・文章の初期校正

- 少人数での作業が好ましいもの
- ・決定、判断をするもの
- ・誌面の最終判断(2人以上)
- ・デザイン(万人ウケや折衷タイプ=誰にもウケない)

6 2 DXを意識する

① 教育現場のデジタル化

- ・学校での情報配布が昨年から新ルール化
- ・職員個々のPC配置(予定)



**デジタル化、生成AI活用を試行し
自分にとって良いモノがあれば選ぶ・続ける**

メンバーの時短・誌面の節約に繋がる



6 TnFxF

1 PTAの情報発信

2 DXを意識する

② 無料で利用できる杉並区独自の情報発信ツール



ポータルサイト

「すぎなみ地域コム」

区内に拠点をおく団体が情報を投稿し、読者は団体が実施するイベントや団体そのものを検索できるポータルサイト。希望により個別に運営できるCMSサイトが無料で使用できる。

CMS:コンテンツマネジメントシステム

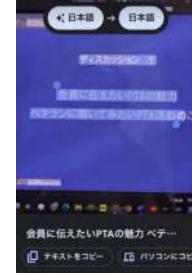
団体概要紹介



団体個別運営サイト(CMS)

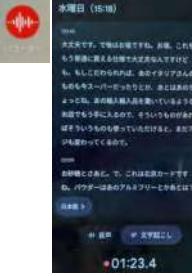
2 DXを意識する

③ ちょっと便利な使えるツール



写真から文字おこし

- ・資料からOCR
- ・翻訳



リアルタイム文字おこし

- ・(android / iOS)レコーダー
- ・議事録利用
- ・会議要録



写真加工・切り抜き

- ・デザインアクセント
- ・人物消去



2 DXを意識する

Tテ**Fフ**Fエフ 経営資源有効活用法人 チューニング・フォーザ・フェューチャー

2 DXを意識する

2 DXを意識する

10

AI&生成AI

ほかに Copilot Bing などがある、使いやすいものを選んで時短に役立てる

ページタイトル	ページビュー数	ページ別訪問数	平均ページ滞在時間
1. 学年だより(2年).html	54,225 全体に対する割合: 100.0% (54,225)	42,830 全体に対する割合: 100.0% (42,830)	00:01:10 ビューの平均: 00:01:10 (0.00%)
2. 広報(第92号).PDF	2,574(4.75%)	1,635(3.82%)	00:00:54
3. 広報(第90号)01.html	1,953(3.60%)	1,209(2.82%)	00:00:17
4. 広報(第90号)04.html	1,440(2.66%)	720(1.68%)	00:00:09
5. 運営委員会だより第178号 選管がらのお知らせ.html	1,331(2.45%)	722(1.59%)	00:00:21
6. 学年だより(1年).html	819(1.51%)		
	814(1.50%)		

アクセス解析 Google Analytics 4

ウェブサイトを運営する場合、どのページが何ページ見られているか、最後まで読まれているか、何人がアクセスしたかなど自動分析される。情報発信の効果測定、PDCAの参考に。



	ChatGPT	Gemini
無料	<p>最新版(4.0)リリースで正確性・速度が向上し実用的になった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の生成、要約、翻訳 ・画像の解析、OCR・テキスト化 ・プログラム作成 <p>※利用回数制限あり</p>	<p>複数のモデルがあり自身にあったレベルを選択して利用 (無料版はFlash)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の生成 ・画像の作成、解析、OCR・テキスト化 ・プログラム作成 <p>※利用回数制限あり</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・有料版では、利用回数等制限は原則なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料版(Gemini Pro 1.等)でも、利用回数によって料金が異なる ・大規模データ処理や、ある程度のカスタマイズができる

2 DXを意識する

Tテ**Fフ**Fエフ 経営資源有効活用法人 チューニング・フォーザ・フェューチャー

2 DXを意識する

生成AIでの文章作成 文案として参考に。 キヤッコピーや仕様列記、紹介文に適している。



▼AIに与えた商品情報(プロンプト)
以下の商品の紹介文を作成してください。商品名はなみすけのイラスト入りスケッチブックです。
スケッチブック
小型で持ちやすい
人気の老舗マルマンのOEM
かわいいなみすけ



▼AIが作成した商品紹介文

なみすけのイラスト入りスケッチブックは、アート作品を手軽に表現できる便利アイテムです。小型で持ち運びにも便利なサイズで、いつでもどこでもアイデアをスケッチすることができます。高品質のペーパーを使用しており、色鮮やかに表現することができます。このスケッチブックは、老舗マルマンがOEMで製造しているため、品質と信頼性にも定評があります。なみすけのかわいいイラストが入っているので、アート作品を作る際のインスピレーションにもなること間違いありません。なみすけのイラスト入りスケッチブックは、あなたの創造性や表現力を引き出すお手伝いをします。ぜひ、あなたのアートライフにお役立てください。
※取り扱いの際は、湿気や水濡れにご注意ください。

12

2 DXを意識する

AI 使用例 文章要約(Copilot) 議事の要録に最適

▼要約元の文字起こしママ原稿

みなさま、こんにちは部会長の手塚です。今日は、おいそがしいなかご参加ありがとうございます。それでは、時間もあることですので、さっそく、今日の検討事項を次第順に進め、後半に部会員の中野さん、金田さんから、秋のイベント特集号の企画詳細案と、冬のどうか、年末のギフトシーズンを見据えた近隣のお出掛け&帰省時のギフト特集の案があがっていますので、そうですねえ、それぞれ10分くらいで説明いただきましょうか。じゃあ、ちょうど15時くらいからですね、10分説明してもらって15分くらい質疑って感じでよいですか？では、それをお願いしますね。

262文字

▼AIが要約した文

手塚部会長は、参加者に感謝の意を述べた後、本日の検討事項を順番に進めることを確認しました。後半では、部会員の中野さんと金田さんが、秋のイベント特集号の企画詳細案および年末のギフトシーズン向けの特集案を説明する予定です。それぞれ約10分間の説明の後、15分程度の質疑応答を行う段取りとなりました。

145文字



T F F 株式会社トヨタ チューニングフォーザ・フューチャー

ブレイクアウトルームで懇談しましょう！

14

3 情報発信のポイント

ルームごとに自己紹介後、テーマを選んで25分程度、情報共有ください。

※時間ががあれば両方のテーマで懇談ください。

終了後、2つのグループに発表いただきますので、ご協力お願いします！

テーマ ①

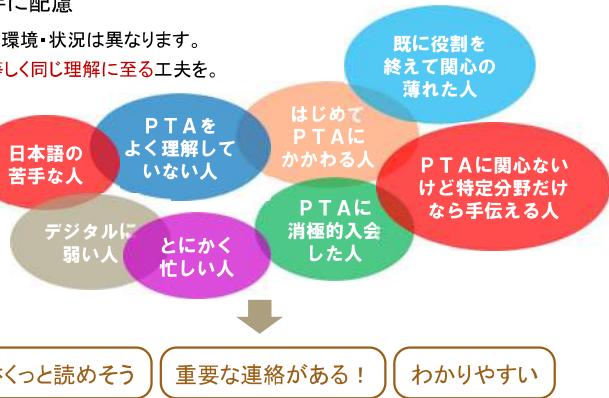
- ・会員に伝えたいPTAの魅力
- ・聞いてみたいPTA活動の疑問

テーマ ②

- ・書記・広報の便利ツール
- ・発信で気をついていること

① 読み手に配慮

PTA会員の環境・状況は異なります。
受信者が等しく同じ理解に至る工夫を。



T F F 株式会社トヨタ チューニングフォーザ・フューチャー

T F F 株式会社トヨタ チューニングフォーザ・フューチャー

3 情報発信のポイント

3 情報発信のポイント

16

参考：やさしく正しい日本語＝自動翻訳配慮



② 第一印象を大切に

忙しくてもさくっと読めそう、読まなくてはいけないと感じてもらう工夫を。



- 重要度が分かる工夫 **最重要** **要返信(5/20期限)** **報告**
- 具体的に**自分事**と思える見出し
- 記事の多いときは**ナンパリング**見出しで把握しやすくなる



- 季節のあいさつ文等の短縮やカット
- 一文を短く 善意の省略 適度な改行 ※AI要約機能を参考に
- 経験者にしか通じないPTA用語・略語は避ける
- 読みやすい文字サイズ・フォント・行間隔(文字サイズ×1.5倍以上)
- 必要に応じ箇条書き、表・グラフの活用
- 当事者意識を持ちやすいよう可能な限り**具体的明記・強調**

T F F 株式会社情報発信支援法人
チューニングフォーザ・フェューチャー

T F F 株式会社情報発信支援法人
チューニングフォーザ・フェューチャー

3 情報発信のポイント

3 情報発信のポイント

18

●記事の大小・文字種のメリハリ



SDGsを親子で体験！リサイクルプロジェクト始動

5月第1回運営委員会では、SDGs アンケートで要望の多かった習字道を子供たちとともに学べるようPTA 具・衣類リサイクル、ランドセル寄付について新プロジェクトを始動することについて9月スタートを予定しています。が決定しました。

自由参加

関心のある方はオンライン会議にご参加ください！
5月30日 朝8:40から20分 PTA部会アカウントへ。

日付を強調

・概要と詳細のバランスに配慮
・参加手順を簡単に紹介

●アイキャッチの工夫



乙の法則

人間の視線は左右→上下に動くのが一般的とされる



赤の法則

人間の視線は赤を第一にキャッチすることが多い
色に対する意識感覚は地域によって異なることがある



小学生低学年に多い眼病とは？

視線・肖像の法則

同じ状況にある印刷物なら肖像(目線)のあるものを受け取者は第一にキャッチすることが多い

ダグマーの法則

興味を感じるかどうか、人間は一瞬に判断するという説

T F F 株式会社情報発信支援法人
チューニングフォーザ・フェューチャー

T F F 株式会社情報発信支援法人
チューニングフォーザ・フェューチャー

③コンプライアンス・セキュリティ対策

コンプライアンス
法令遵守

- 個人情報、著作権などの問題を発見・判断できる知識を持つ
 - ・例:PTAのマスコットは誰がデザインしたのか?
 - ・役員のプロフィールはどこまで具体的に記載するのか?
 - ・成果物は校外に配布するのか?

※参照:文化庁/著作権制度に関する情報、参照:個人情報保護委員会

- ・情報の組み合わせで個人特定できる状態を防ぐ
- ・PTA会員の描いたカットにも著作権はある

過去の例

学校便りを受け取った地域の方が厚意で(無断で)ネットにスキャンしたデータを掲載した。後日重要な変更があっても、新たに改正した情報を到達させることができなかつた。※転載の可否を記載すべき

セキュリティアクション
IPA(情報処理推進機構)

- 自己申告型の学習システム
- 無料チェックシートで自己採点
- 係内部チェック用、会員への紹介に

分野	内容	備考
肖像権 個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の表情を掲載したい場合は部員の家族をモデルにするなど 住所、氏名、年齢は情報の組み合わせに注意する 細かく載せない 	
著作権	<ul style="list-style-type: none"> ある程度の引用は認められているが、全体に対する割合が低いこと、必要性の有無が判断基準となる 人物写真には肖像者への配慮と撮影者著作権が存在する 発行物は公開後70年、作家物は作家の没後70年で保護期間解除 TPPルール下図参照 ※美術品、地図類は一部例外あり 	※文化庁解説ページ 



④データ制作時の注意点

- データ容量は適切なサイズにする(3MB以下推奨)
 - ・画像は張り込む前にデータを小さくしておく
 - ・かわり書体は文字化けになる可能性があるので避ける
- ファイル名はわかりやすくルール化する(タイトル+枝番推奨)
 - Koho_2024_06.pdf
 - Koho_2024_09.pdf
 - PTA-DAYORI_no255_202405.pdf
 - PTA-DAYORI_no256_202406.pdf
- PDFのプロパティ設定は正しく。個人情報を掲載しない

ファイル: クリアファイルデータ件底面に注釈点Illustrator.pdf
タイトル: PTA研究セミナー
作成者名: 事務担当者
サブタイトル: 広報・発行 2024
キーワード:

ファイル名、タイトル、作成者名などは閲覧者に見えるためきちんと正式に入力しておく個人名は避ける

⑤PDCA



- CHECKの課題
 - ・アンケート回答率が低い
回答者はいつも同じ会員
 - ・適切な読者意見が回収できない
クレームだけで建設的でない
 - ・反応がなく改善策が検討できない

- CHECKの試行アイデア
 - ・モニターをあらかじめ募集し回答に協力してもらう
 - ・気軽な内容の質問タイプ記事で回答を募集する
 - ・ウェブサイトの場合はQRコードで計測可能
事前にGoogleにURLを登録してQRコードを発行すると
どのコードからアクセスしたかGA4で判断できる
 - ※学年、発行号単位にコードを変えるなど
 - ・PDF文書にURLのリンクを埋込み利便性アップ

3 情報発信のポイント

● その他受信率・読了率向上アイデア



- ・情報配布日の定期化
- ・情報配布開始日の繰り上げ



- ・休息コラムで別角度から関心を得る
「あの有名人はわが校の卒業生」
- 「地域のイベント紹介」
- 「学校の謎・学校周辺の歴史」
- 「給食の歴史」



- ・大胆な誌面デザイン刷新
表紙を劇的にイメージチェンジし変化を知らせる
- 毎号の違いがすぐわかるようなメインの変更、
季節のテーマカラーをベースにするなど

24

まとめ

部員の個性・スキルを活かした
効率的な活動を！

会員に配慮し
充実した読後感を！

過去の慣習にとらわれず
新しいPTA・DXを試行しよう！

会員の充実感は、部員みなさんの充実感に繋がります！
何か一つでも新しいことに挑戦し次世代に伝えましょう！

お疲れさまでした！

TEF 関連会員登録
チューニング・フォーサ・フェューチャー

25